

ごみ組成分析調査
報告書

平成 23 年 8 月

江 東 区

目 次

第 1 章	調査結果.....	1
1.1	調査の概要.....	1
1.2	調査内容.....	1
1.3	調査の手順.....	2
1.4	分析上の共通事項.....	5
1.5	サンプルの回収量.....	7
1.6	家庭ごみの組成.....	8
1.7	事業系ごみの組成.....	26
1.8	排出容器の使用状況.....	34
1.9	容器包装プラスチックの汚れ状況.....	35
1.10	レジ袋の使用状況.....	37
第 2 章	過去の調査との比較.....	38
2.1	平成 21 年度調査の分類.....	38
2.2	組成.....	40
2.3	排出容器の使用状況.....	43
2.4	資源化可能物.....	44
2.5	分別協力率.....	46

第1章 調査結果

1.1 調査の概要

(1)調査の目的

家庭ごみ及び事業系ごみ中の資源化可能物の混入量、区民の分別協力率等を把握し、資源化可能量の算定等のために行うものとする。

1.2 調査内容

(1)分析対象分別区分

分析対象の分別区分は表 1-1 のとおりである。なお、燃やすごみは週に 2 回収集を行っているが、家庭ごみは 2 回分の可燃ごみを調査対象とし、事業系ごみは 1 回分を調査対象とした。

表 1-1 調査対象分別区分

種別	調査対象分別区分
家庭ごみ	燃やすごみ(2回)、燃やさないごみ、容器包装プラスチック
事業系ごみ	燃やすごみ、燃やさないごみ

(2)調査対象地域とサンプル収集日

調査対象地域とサンプル収集日は表 1-2 のとおりである。家庭ごみは、住居形態を考慮して、戸建て、低中層集合住宅（1～5階建て）、高層集合住宅（6階建て以上）を対象とした。事業系ごみは、業種を考慮して、飲食店、販売店、製造業を対象とした。

表 1-2 調査対象地域とサンプル収集日

種別	調査対象地域	燃やすごみ		燃やさないごみ	容器包装プラスチック
		週前半	週後半		
家庭ごみ	東陽	6月13(月)	6月16(木)	6月15(水)	6月18(土)
	塩浜	6月13(月)	6月16(木)	6月18(土)	6月15(水)
	南砂	6月14(火)	6月17(金)	6月13(月)	6月16(木)
	千田・千石	6月15(水)	6月18(土)	6月17(金)	6月14(火)
事業系ごみ	大島	6月14(火)	-	6月16(木)	-
	北砂	6月14(火)	-	6月13(月)	-
	辰巳	-	6月16(木)	6月18(土)	-
	新木場	-	6月16(木)	6月18(土)	-

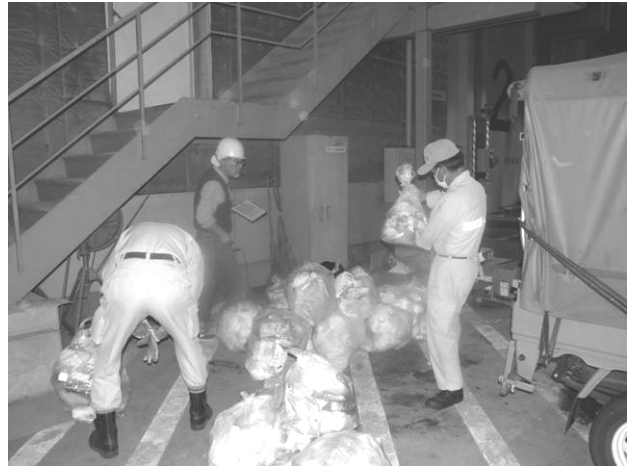
(3)組成分析作業場所

東京二十三区清掃一部事務組合新江東清掃工場で実施した。

1.3 調査の手順

① サンプルの回収

調査対象の集積場からごみを回収し新江東清掃工場に搬入する。



② 排出容器別の形状と重量の記録

回収したサンプルが入っている袋等の形状を確認し、重量を計量して記録する。



③ 組成分類別に分別

サンプルを組成分類別（表 1-4）に分別する。



容器包装プラスチックを汚れ状況により、表 1-3 の 4 種類に分類した。

なお、事業系の容器包装プラスチックは容器包装リサイクル法の対象外のため、汚れ状況調査は家庭ごみのみを対象とした。

表 1-3 容器包装プラスチックの汚れ状況の分類基準

分類	分類基準	容器包装プラスチックとしての排出
きれい	洗浄してある等により汚れていないプラスチック類	可能
汚れあり(軽度)	他のごみの汚れが付着していたり、洗浄していないために汚れはあるが、容器包装プラスチックとしてリサイクルが可能なもの	可能
汚れあり(重度)	他のごみの汚れが付着していたり、洗浄していないために汚れがあり、容器包装プラスチックとしてリサイクルが不可能なもの	不可
残留物あり	残留物が入っていたり、残留物が大量にプラスチック類に付着しているもの	不可

④組成分類別に計量

組成分析項目別に分類したサンプルを計量して記録する。



表 1-4 組成分類

No.	分類名		具体的な品目	
1	燃やすごみ	生ごみ	残飯、調理かす(野菜、果物、肉、魚など)	
2		紙類	新聞(汚れたもの)	ごみを包んで出した新聞紙
3			容器包装の紙類(リサイクル不可)	紙製のヨーグルトカップ等、食品で汚れていて資源にならないものなど
4		その他紙類	紙くす、ちり紙、ペーパータオル、カーボン紙、伝票・レシートなど	
5		プラスチック類	レジ袋(中にごみあり)	中にごみが入っているレジ袋
6			その他プラスチック	梱包用テープ、ビデオテープ、CD、パケツ、文房具、おもちゃ、ビニール製バッグ、家庭用ラップなど
7		容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)	他のごみの汚れが付着していたり洗浄していないために汚れがあるもの、残留物が入っていたり残留物が大量にプラスチック類に付着しているもの	
8		その他	ゴム・皮革類	ゴム製品(運動靴やサンダルなど)、皮革類(革製の鞆、靴など)
9			布類	衣類、布きれ、タオル、ふきんなど
10			木・草類	庭木、落ち葉・草、生花、割り箸、竹串、コルクなど
11			医療系廃棄物	注射器など
12			その他可燃	脱脂綿、カーゼ、包帯、紙おむつ、生理用品、油をかためたもの、掃除機のごみ、タバコ吸い殻、猫砂(紙製品)、保冷剤など
13	燃やさないごみ	金属類	スチール缶(リサイクル不可)	サラダ油、ツナ缶などの油もの、ペットフードなどの缶
14			アルミ缶(リサイクル不可)	サラダ油、ツナ缶などの油もの、ペットフードなどの缶
15			危険物(使い切っているもの)	スプレー缶、ライター、カセットボンベなど
16			危険物(中身が残っているもの)	スプレー缶、ライター、カセットボンベなど
17			その他の金属類	飲食用以外の缶(石油缶、一斗缶など)、アルミ缶、なべ、フライパンなど
18	ガラス類	雑びん類(リサイクル不可)	ドラッシング、サラダオイルなどの油ものびん	
19			蛍光灯(割れていないもの)	環型、直管型、電球型
20			蛍光灯(割れているもの)	環型、直管型、電球型
21			その他ガラス類	耐熱ガラス、コップ、鏡など
22			陶磁器類	皿、茶碗、植木鉢、レンガなど
23	その他	乾電池	アルカリ、マンガンなど一次電池	
24		小型家電(30センチ未満のもの)	ドライヤー、アイロン、ラジカセ、ポットなど	
25		携帯電話		
26		その他不燃	飲食用及び化粧水以外のびん(化粧水以外の汚れた化粧品のびん、薬のびんなど)、使い捨てカイロ、乾燥剤、電球、傘、刃物など	
27	資源	紙類	新聞(きれいなもの)	他の用途に使用されずに出されている新聞紙
28			折込広告	新聞に入る折込広告・チラシ
29			雑誌・本	本類、週刊誌、月刊誌、パンフレットなど
30			雑がみ	ダイレクトメール、はがき等、名刺以上のリサイクル可能な紙類
31			OA用紙(コピー用紙等)	連続用紙、シュレッダー済み含む
32			ダンボール	宅配便の箱、みかん箱など
33			紙バック	牛乳パックやジュースのパック(内側にアルミがついていないもの)
34			容器包装の紙類(リサイクル可)	紙袋、包装紙、お菓子やスナック菓子の箱など、商品の容器や包装として使われたもの
35			ペットボトル	 の識別マークのあるもの
36			資源	容器包装プラスチック
37	ボトル	シャンプー、洗剤、調味料などのボトル		
38	フタ・キャップ類	ペットボトル・インスタントコーヒーのフタ、ポンプ式のフタ、プリンなどのはがすタイプのフタ、食パンなどのとめ具など		
39	カップ類	プリン、ゼリーなどの容器		
40	ふくろ類	菓子、パン、あめの袋など		
41	チャック類	マヨネーズ、ケチャップ、醤油、からしなど		
42	食品用バック類	卵、持ち帰り弁当などの容器など		
43	発泡樹脂でないトレイ	野菜・冷凍食品などが入っているトレイ		
44	その他バック類	歯ブラシのバックなど		
45	ネット類	野菜・果物のネット		
46	ラベル・フィルム類	ペットボトルのラベル、おにぎりの包み、たばこのフィルム、いちごなどのフィルム、納豆のフィルムなど		
47	ラップ類	包装用食品ラップ(バーコードラベル付きのもの含む)		
48	その他	薬のシート、プチプチなど		
49	資源	発泡スチロール	発泡トレイ(白)	スーパーなどで肉や魚などの容器として使われている白いトレイなどで柄のないもの、納豆バック等
50			発泡トレイ(柄)	スーパーなどで肉や魚などの容器として使われているトレイなどで柄のあるもの、カップめんの容器等
51			発泡樹脂容器等	魚箱、緩衝材、野菜・果物のネット
52	資源	びん	生きびん類	ビールびん、一升びん、リターナブルびん
53			雑びん類(リサイクル可)	飲食用のびん、ワインびん、ジュースやドリンクびん、ジャムのびん、化粧水のびん(ワンウェイびん)
54	資源	缶	スチール缶(リサイクル可)	飲食用のみ
55			アルミ缶(リサイクル可)	飲食用のみ
56			プラスチック類	ごみを出した容器のうち、23区推奨袋、市販のごみ袋など
57	外袋	レジ袋	ごみを出した容器のうち、レジ袋	
58		紙袋	ごみを出した容器のうち、紙製の袋	
59		その他		

※事業系ごみは No.7 容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)の分類はない。

1.4 分析上の共通事項

(1)表やグラフについて

- ①表やグラフ中の合計値が、丸め誤差により一致しない場合がある。
- ②表やグラフ中で「0（ゼロ）」と表示されているところは、表示されている小数点よりも小さい値がある場合を、また、空欄は値がない場合を表している。

(2)全体平均について

家庭ごみの全体平均は住居形態別の組成から求めた。江東区の住居形態状況を反映させるために、表 1-5 の江東区の住居形態別世帯数の割合により、住居形態別の組成を加重平均して算出した。

事業系ごみの全体平均は業種別の組成を平均して求めた。

表 1-5 江東区の住居形態別世帯数

	戸建て	低中層		高層	その他	合計
	一戸建	長屋建	共同住宅 1～5階建	共同住宅 6階建以上		
世帯数	31,538	662	41,337	109,159	319	183,015
割合	17.2%	22.9%		59.6%	0.2%	100.0%

出典：平成17年国勢調査

(3)用語について

①資源化可能物

何らかの資源化ルートが確保されている品目を資源化可能物と定義し、可燃系と不燃系の2つに分類して用いる。

可燃系資源化可能物

- 紙類：新聞(きれいなもの)、折込広告、雑誌・本、雑がみ、OA用紙、ダンボール、紙パック、容器包装の紙類(きれいなもの)
- ペットボトル
- 容器包装プラスチック(きれいなもの)
- 発泡スチロール

不燃系資源化可能物

- びん：生きびん類、雑びん類
- 缶：スチール缶、アルミ缶

※事業系の容器包装プラスチックは容器包装リサイクル法の対象外のため、汚れ状況は調査していない。

②分別協力率

排出されたごみ量のうち、正しく分別されたごみ量の割合（重量比）

燃やすごみの分別協力率

<家庭ごみ>

燃やすごみとして出された中の「燃やすごみ（容器包装プラスチック（汚れ・残留物あり）を含む）」、「発泡スチロール」、「外袋」の割合。

※発泡スチロールについては、汚れていて燃やすごみとして出されたと判断。

（算定式）

$$\text{分別協力率} = \frac{\text{燃やすごみ(No.1~12)} + \text{発泡スチロール(No.49~51)} + \text{外袋(No.56~59)}}{\text{燃やすごみとして出されたごみ}}$$

※燃やすごみの中に容器包装プラスチック（汚れ・残留物あり）が含まれている。

<事業系ごみ>

燃やすごみとして出された中の「燃やすごみ」、「容器包装プラスチック」、「発泡スチロール」、「外袋」の割合。

（算定式）

$$\text{分別協力率} = \frac{\text{燃やすごみ(No.1~12)} + \text{容器包装プラスチック(No.36~48)} + \text{発泡スチロール(No.49~51)} + \text{外袋(No.56~59)}}{\text{燃やすごみとして出されたごみ}}$$

燃やさないごみの分別協力率

燃やさないごみとして出された中の「燃やさないごみ」、「外袋」の割合。

（算定式）

$$\text{分別協力率} = \frac{\text{燃やさないごみ(No.13~26)} + \text{外袋(No.56~59)}}{\text{燃やさないごみとして出されたごみ}}$$

1.5 サンプルの回収量

(1)家庭ごみ

家庭ごみの回収量を表 1-6 に示す。

表 1-6 家庭ごみのサンプル回収量

単位:kg

地域	住居形態	燃やすごみ			燃やさないごみ	容器包装プラスチック
		週前半	週後半	合計		
東陽	戸建て	54.51	13.79	68.30	13.46	5.61
	低中層	35.92	24.31	60.23	11.56	6.52
	高層	52.79	23.23	76.02	13.57	3.95
塩浜	戸建て	54.72	35.50	90.22	23.03	12.81
	低中層	56.28	49.09	105.37	32.28	20.42
	高層	32.59	52.51	85.10	23.90	7.10
南砂	戸建て	36.41	9.87	46.28	6.26	4.35
	低中層	45.29	17.45	62.74	14.11	7.92
	高層	27.55	11.12	38.67	16.34	2.80
千田・千石	戸建て	40.78	25.88	66.66	13.01	4.98
	低中層	11.50	26.65	38.15	7.59	2.86
	高層	27.29	15.56	42.85	12.48	6.50
合計		475.63	304.96	780.59	187.59	85.82

(2)事業系ごみ

事業系ごみの回収量を表 1-7 に示す。

表 1-7 事業系ごみのサンプル回収量

単位:kg

地域	事業形態	燃やすごみ	燃やさないごみ
大島	飲食店	78.99	6.79
北砂	飲食店	47.63	9.59
大島	販売店	47.27	10.68
北砂	販売店	36.70	27.44
辰巳	製造業	30.27	28.04
新木場	製造業	90.79	53.33
合計		331.65	135.87

1.6 家庭ごみの組成

(1)燃やすごみ

①全体平均

燃やすごみの組成の全体平均を表 1-8 と表 1-9 及び図 1-1 に示す。中分類で見た場合、組成割合は、生ごみ 48.9%が最も多く、次いで、その他（燃やすごみ）19.4%、紙類（資源）14.9%の順である。分別協力率は 81.9%で、資源化可能物は、可燃系が 17.8%、不燃系が 0.1%、合計が 17.9%である。

表 1-8 家庭ごみの燃やすごみの組成割合（全体平均）①

No.	大分類	中分類	細分類	全体平均		
1	燃やすごみ	生ごみ		48.9%	48.9%	
2		紙類	新聞(汚れたもの)	0.6%		7.8%
3			容器包装の紙類(リサイクル不可)	0.7%		
4			その他紙類	6.6%		
5			プラスチック類	レジ袋(中にごみあり)		
6		その他プラスチック		1.4%		
7		容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)		2.9%		
8		その他	ゴム・皮革類	1.1%		19.4%
9			布類	8.1%		
10			木・草類	1.9%		
11			医療系廃棄物			
12			その他可燃	8.2%		
13	燃やさないごみ	金属類	スチール缶(リサイクル不可)		0.1%	
14			アルミ缶(リサイクル不可)			
15			危険物(使い切っているもの)	0.0%		
16			危険物(中身が残っているもの)			
17			その他の金属類	0.1%		
18		ガラス類	雑びん類(リサイクル不可)	0.0%	0.5%	
19			蛍光管(割れていないもの)			
20			蛍光管(割れているもの)			
21			その他ガラス類	0.0%		
22		陶磁器類		0.0%	0.0%	
23		その他	乾電池	0.0%	0.3%	
24	小型家電(30センチ未満のもの)		0.0%			
25	携帯電話		0.1%			
26	その他不燃		0.2%			
27	資源	紙類	新聞(きれいなもの)	1.7%	14.9%	
28			折込広告	2.2%		
29			雑誌・本	1.4%		
30			雑がみ	3.8%		
31			OA用紙(コピー用紙等)	0.4%		
32			ダンボール	1.0%		
33			紙バック	0.5%		
34			容器包装の紙類(リサイクル可)	4.0%		
35			ペットボトル			0.1%
36		容器包装プラスチック	レジ袋(中にごみなし)	0.4%	2.5%	
37			ボトル	0.5%		
38			フタ・キャップ類	0.0%		
39			カップ類	0.1%		
40			ふくろ類	0.8%		
41			チューブ類	0.1%		
42			食品用バック類	0.2%		
43			発泡樹脂でないトレイ	0.1%		
44			その他バック類	0.1%		
45			ネット類	0.0%		
46		ラベル・フィルム類	0.1%			
47		ラップ類	0.0%			
48		その他	0.0%			
49		発泡スチロール	発泡トレイ(白)	0.1%	0.3%	
50	発泡トレイ(柄)		0.1%			
51	発泡樹脂容器等		0.1%			
52	びん	生きびん類		0.1%		
53		雑びん類(リサイクル可)	0.1%			
54	缶	スチール缶(リサイクル可)	0.0%	0.0%		
55		アルミ缶(リサイクル可)	0.0%			
56	外袋	プラスチック類	0.5%	0.6%		
57		レジ袋	0.1%			
58		紙袋				
59		その他	0.0%			
合計				100.0%	100.0%	

表 1-9 家庭ごみの燃やすごみの組成割合（全体平均）②

	全体平均
燃やすごみ	81.0%
燃やさないごみ	0.5%
資源	17.9%
紙類	14.9%
ペットボトル	0.1%
容器包装プラスチック	2.5%
発泡スチロール	0.3%
びん	0.1%
缶	0.0%
外袋	0.6%
資源化可能物	17.9%
可燃系資源化可能物	17.8%
不燃系資源化可能物	0.1%
分別協力率(燃やすごみ+発泡スチロール+外袋)	81.9%

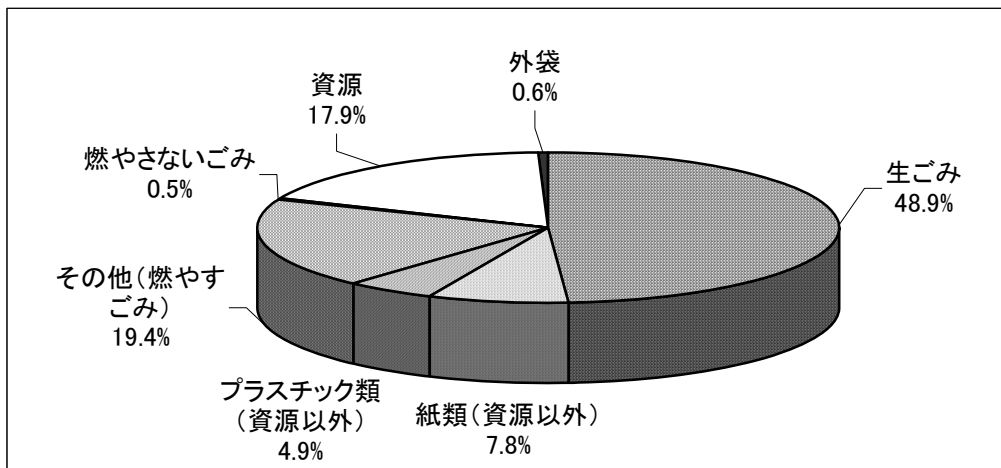


図 1-1 家庭ごみの燃やすごみの組成割合（全体平均）

②住居形態別

住居形態別の燃やすごみの組成と全体平均との比較を表 1-10 と表 1-11 及び図 1-2 に示す。分別協力率は、戸建て 83.0%が最も高く、低中層と高層が 81.7%である。資源化可能物の混入割合は、低中層 18.3%が最も高く、次いで、高層 18.0%、戸建て 17.1%の順である。

表 1-10 家庭ごみの燃やすごみの組成割合（住居形態別）①

No.	大分類	中分類	細分類	戸建て	低中層	高層	全体平均
1	燃やすごみ	生ごみ		48.9%	53.3%	47.2%	48.9%
2		紙類	新聞(汚れたもの)	0.4%	0.8%	0.6%	0.6%
3			容器包装の紙類(リサイクル不可)	1.0%	0.8%	0.5%	0.7%
4			その他紙類	7.9%	5.0%	6.8%	6.6%
5		プラスチック類	レジ袋(中にごみあり)	0.8%	0.5%	0.5%	0.5%
6			その他プラスチック	3.2%	0.6%	1.3%	1.4%
7			容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)	3.9%	2.4%	2.8%	2.9%
8		その他	ゴム・皮革類	0.7%	2.0%	0.9%	1.1%
9			布類	6.8%	8.3%	8.5%	8.1%
10			木・草類	2.5%	1.8%	1.8%	1.9%
11			医療系廃棄物				
12			その他可燃	5.5%	5.4%	10.1%	8.2%
13	燃やさないごみ	金属類	スチール缶(リサイクル不可)				
14			アルミ缶(リサイクル不可)				
15			危険物(使い切っているもの)	0.0%			0.0%
16			危険物(中身が残っているもの)				
17			その他の金属類	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
18		ガラス類	雑びん類(リサイクル不可)		0.1%		0.0%
19			蛍光灯(割れていないもの)				
20			蛍光灯(割れているもの)				
21			その他ガラス類	0.1%			0.0%
22		陶磁器類		0.0%			0.0%
23		その他	乾電池	0.0%	0.0%		0.0%
24			小型家電(30センチ未満のもの)	0.1%	0.0%		0.0%
25	携帯電話				0.2%	0.1%	
26	その他不燃		0.1%	0.0%	0.3%	0.2%	
27	資源	紙類	新聞(きれいなもの)	1.2%	5.0%	0.6%	1.7%
28			折込広告	1.0%	1.2%	2.9%	2.2%
29			雑誌・本	1.9%	1.1%	1.3%	1.4%
30			雑がみ	2.9%	2.8%	4.4%	3.8%
31			OA用紙(コピー用紙等)	0.4%	1.0%	0.1%	0.4%
32			ダンボール	1.4%	0.9%	0.9%	1.0%
33			紙パック	1.1%	0.7%	0.2%	0.5%
34			容器包装の紙類(リサイクル可)	3.1%	3.1%	4.6%	4.0%
35			ペットボトル	0.5%	0.0%	0.0%	0.1%
36			容器包装プラスチック	レジ袋(中にごみなし)	0.1%	0.3%	0.5%
37		ボトル		0.5%	0.4%	0.5%	0.5%
38		フタ・キャップ類		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
39		カップ類		0.2%	0.2%	0.1%	0.1%
40		ふくろ類		0.9%	0.7%	0.9%	0.8%
41		チューブ類		0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
42		食品用パック類		0.6%	0.2%	0.1%	0.2%
43		発泡樹脂でないトレイ		0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
44		その他パック類		0.1%	0.0%	0.2%	0.1%
45		ネット類		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
46		ラベル・フィルム類	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	
47		フリップ類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
48		その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
49		発泡スチロール	発泡トレイ(白)	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%
50	発泡トレイ(柄)		0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	
51	発泡樹脂容器等		0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	
52	びん	生きびん類					
53		雑びん類(リサイクル可)	0.2%	0.0%	0.1%	0.1%	
54	缶	スチール缶(リサイクル可)	0.1%		0.0%	0.0%	
55		アルミ缶(リサイクル可)	0.0%	0.0%		0.0%	
56	外袋	プラスチック類	0.6%	0.4%	0.4%	0.5%	
57		レジ袋	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	
58		紙袋					
59		その他	0.3%			0.0%	
合計				100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 1-11 家庭ごみの燃やすごみの組成割合（住居形態別）②

		戸建て	低中層	高層	全体平均
燃やすごみ		81.6%	80.9%	80.8%	81.0%
燃やさないごみ		0.4%	0.3%	0.6%	0.5%
資源		17.1%	18.3%	18.0%	17.9%
	紙類	13.1%	15.8%	15.1%	14.9%
	ペットボトル	0.5%	0.0%	0.0%	0.1%
	容器包装プラスチック	2.8%	2.1%	2.5%	2.5%
	発泡スチロール	0.5%	0.3%	0.3%	0.3%
	びん	0.2%	0.0%	0.1%	0.1%
	缶	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
外袋		0.9%	0.5%	0.6%	0.6%
資源化可能物		17.1%	18.3%	18.0%	17.9%
	可燃系資源化可能物	16.8%	18.3%	17.9%	17.8%
	不燃系資源化可能物	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%
分別協力率(燃やすごみ+発泡スチロール+外袋)		83.0%	81.7%	81.7%	81.9%

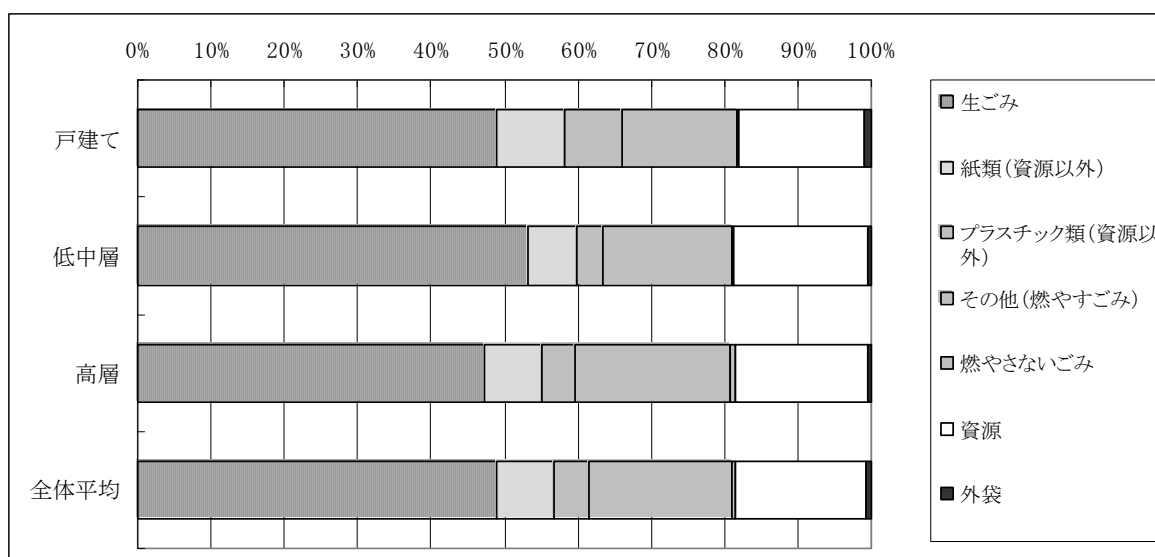


図 1-2 家庭ごみの燃やすごみの組成割合（住居形態別）

③地域別

地域別の燃やすごみの組成と全体平均との比較を表 1-12 と表 1-13 及び図 1-3 に示す。分別協力率は、塩浜 85.8%が最も高く、次いで、南砂 83.2、千田・千石 81.0%の順である。資源化可能物の混入割合は、東陽 21.9%が最も高く、次いで、千田・千石 18.9%、南砂 16.7%の順である。

表 1-12 家庭ごみの燃やすごみの組成割合（地域別）①

No.	大分類	中分類	細分類	東陽	塩浜	南砂	千田・千石	全体平均	
1	燃やすごみ	生ごみ		52.3%	53.4%	51.6%	41.7%	48.9%	
2		紙類	新聞(汚れたもの)	0.6%	0.6%	1.0%	0.2%	0.6%	
3			容器包装の紙類(リサイクル不可)	0.6%	0.7%	1.2%	0.6%	0.7%	
4			その他紙類	5.6%	5.8%	7.7%	7.2%	6.6%	
5		プラスチック類	レジ袋(中にごみあり)	0.6%	0.5%	0.9%	0.4%	0.5%	
6			その他プラスチック	0.6%	1.2%	1.2%	3.8%	1.4%	
7			容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)	2.9%	3.3%	4.3%	1.6%	2.9%	
8		その他	ゴム・皮革類	1.2%	0.6%	0.3%	2.7%	1.1%	
9			布類	4.2%	8.0%	3.9%	15.3%	8.1%	
10			木・草類	1.7%	0.9%	3.1%	2.3%	1.9%	
11			医療系廃棄物						
12			その他可燃	7.2%	10.0%	6.7%	4.2%	8.2%	
13	燃やさないごみ		金属類	スチール缶(リサイクル不可)					
14		アルミ缶(リサイクル不可)							
15		危険物(使い切っているもの)				0.0%		0.0%	
16		危険物(中身が残っているもの)							
17		その他の金属類		0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	
18		ガラス類	雑びん類(リサイクル不可)			0.2%		0.0%	
19			蛍光灯(割れていないもの)						
20			蛍光灯(割れているもの)						
21			その他ガラス類				0.1%	0.0%	
22		陶磁器類			0.0%		0.0%		
23		その他	乾電池		0.0%			0.0%	
24			小型家電(30センチ未満のもの)		0.0%	0.1%		0.0%	
25			携帯電話			0.2%		0.1%	
26			その他不燃	0.0%	0.3%	0.1%	0.2%	0.2%	
27			資源	紙類	新聞(きれいなもの)	1.5%	0.4%	1.5%	5.7%
28		折込広告			4.4%	0.4%	0.9%	1.1%	2.2%
29		雑誌・本			1.9%	1.8%	1.5%	0.6%	1.4%
30		雑がみ			6.5%	2.5%	2.5%	2.0%	3.8%
31	OA用紙(コピー用紙等)	0.8%			0.9%	0.1%	0.3%	0.4%	
32	ダンボール	0.8%			0.7%	0.8%	1.8%	1.0%	
33	紙パック	0.5%			0.8%	0.9%	0.5%	0.5%	
34	容器包装の紙類(リサイクル可)	2.6%			3.2%	5.4%	3.3%	4.0%	
35	ペットボトル	0.2%			0.0%	0.3%	0.2%	0.1%	
36	容器包装プラスチック	レジ袋(中にごみなし)			0.1%	0.3%	0.2%	0.8%	0.4%
37		ボトル		0.3%	0.4%	0.1%	1.1%	0.5%	
38		フタ・キャップ類		0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	
39		カップ類		0.2%	0.2%	0.2%	0.0%	0.1%	
40		ふくろ類		0.9%	0.9%	0.9%	0.6%	0.8%	
41		チューブ類		0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	
42		食品用パック類		0.2%	0.1%	0.6%	0.3%	0.2%	
43		発泡樹脂でないトレイ		0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	
44		その他パック類		0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	
45		ネット類		0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	
46		ラベル・フィルム類		0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	
47		フap類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
48		その他	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
49	発泡スチロール	発泡トレイ(白)	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%		
50		発泡トレイ(柄)	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%		
51		発泡樹脂容器等	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%		
52	びん	生きびん類							
53		雑びん類(リサイクル可)	0.3%	0.1%	0.1%		0.1%		
54	缶	スチール缶(リサイクル可)	0.1%		0.0%	0.0%	0.0%		
55		アルミ缶(リサイクル可)	0.0%		0.0%		0.0%		
56	外袋	プラスチック類	0.4%	0.4%	0.6%	0.5%	0.5%		
57		レジ袋	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%		
58		紙袋							
59		その他	0.2%		0.2%		0.0%		
合計				100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表 1-13 家庭ごみの燃やすごみの組成割合（地域別）②

	東陽	塩浜	南砂	千田・千石	全体平均
燃やすごみ	77.4%	85.0%	82.0%	80.1%	81.0%
燃やさないごみ	0.1%	0.7%	0.5%	0.3%	0.5%
資源	21.9%	13.7%	16.7%	18.9%	17.9%
紙類	18.9%	10.9%	13.5%	15.3%	14.9%
ペットボトル	0.2%	0.0%	0.3%	0.2%	0.1%
容器包装プラスチック	2.0%	2.4%	2.4%	3.1%	2.5%
発泡スチロール	0.4%	0.3%	0.4%	0.3%	0.3%
びん	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
缶	0.1%		0.0%	0.0%	0.0%
外袋	0.6%	0.5%	0.8%	0.6%	0.6%
資源化可能物	21.9%	13.7%	16.7%	18.9%	17.9%
可燃系資源化可能物	21.6%	13.6%	16.6%	18.9%	17.8%
不燃系資源化可能物	0.4%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
分別協力率(燃やすごみ+発泡スチロール+外袋)	78.4%	85.8%	83.2%	81.0%	81.9%

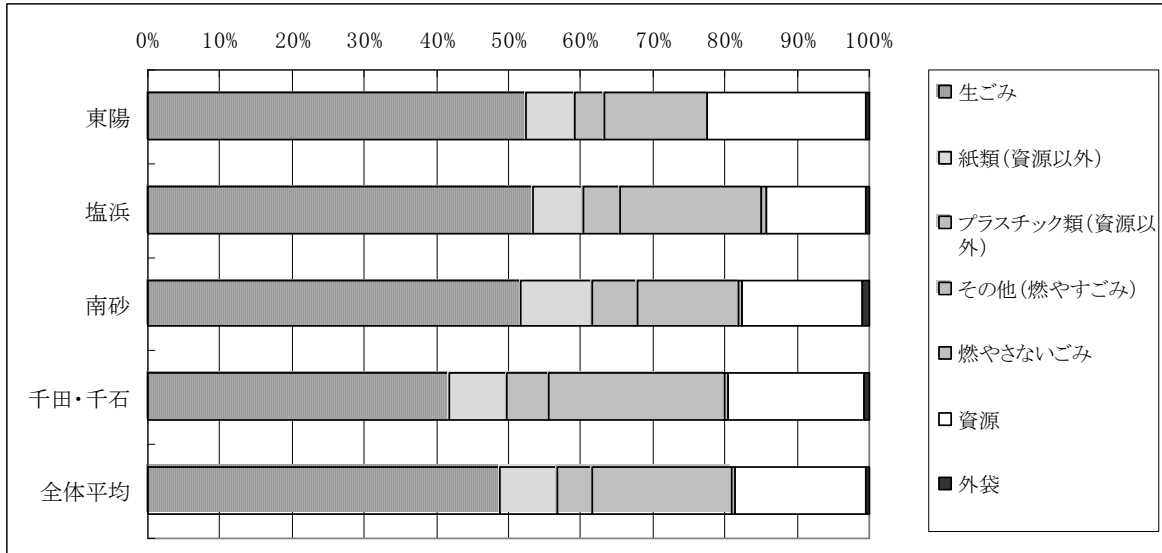


図 1-3 家庭ごみの燃やすごみの組成割合（地域別）

(2)燃やさないごみ

①全体平均

燃やさないごみの組成の全体平均を表 1-14 と表 1-15 及び図 1-4 に示す。中分類で見た場合、組成割合は、その他(燃やさないごみ) 33.5%が最も多く、次いで、金属類 27.2% ガラス類 9.6%の順である。分別協力率は 77.7%で、資源化可能物の混入割合は、可燃系が 1.2%、不燃系が 8.5%、合計が 9.7%である。

表 1-14 家庭ごみの燃やさないごみの組成割合 (全体平均) ①

No.	大分類	中分類	細分類	全体平均		
1	燃やすごみ	生ごみ		0.7%	0.7%	
2		紙類	新聞(汚れたもの)	0.0%	1.2%	
3			容器包装の紙類(リサイクル不可)	0.0%		
4			その他紙類	1.2%		
5		プラスチック類	レジ袋(中にごみあり)	0.3%	6.8%	
6			その他プラスチック	6.5%		
7			容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)			
8		その他	ゴム・皮革類	1.4%	4.0%	
9			布類	0.1%		
10			木・草類			
11			医療系廃棄物			
12			その他可燃	2.6%		
13	燃やさないごみ	金属類	スチール缶(リサイクル不可)	0.8%	27.2%	
14			アルミ缶(リサイクル不可)	0.2%		
15			危険物(使い切っているもの)	2.2%		
16			危険物(中身が残っているもの)	1.5%		
17			その他の金属類	22.6%		
18		ガラス類	雑びん類(リサイクル不可)	3.7%	9.6%	
19			蛍光管(割れていないもの)	1.1%		
20			蛍光管(割れているもの)	0.3%		
21			その他ガラス類	4.5%		
22		陶磁器類		6.7%	6.7%	
23		その他	乾電池	1.7%	33.5%	
24			小型家電(30センチ未満のもの)	20.6%		
25			携帯電話			
26			その他不燃	11.2%		
27		資源	紙類	新聞(きれいなもの)	0.1%	0.7%
28				折込広告	0.0%	
29				雑誌・本		
30				雑がみ	0.0%	
31	OA用紙(コピー用紙等)					
32	ダンボール			0.4%		
33	紙パック					
34	容器包装の紙類(リサイクル可)		0.2%			
35	ペットボトル			0.1%	0.1%	
36	容器包装プラスチック		レジ袋(中にごみなし)	0.0%	0.4%	
37			ボトル	0.3%		
38			フタ・キャップ類	0.1%		
39			カップ類			
40			ふくろ類	0.0%		
41			チューブ類	0.0%		
42			食品用パック類			
43			発泡樹脂でないトレイ			
44			その他パック類	0.0%		
45			ネット類			
46	ラベル・フィルム類		0.0%			
47	ラップ類					
48	その他		0.0%			
49	発泡スチロール		発泡トレイ(白)		0.0%	
50			発泡トレイ(柄)			
51			発泡樹脂容器等	0.0%		
52	びん		生きびん類		4.4%	
53			雑びん類(リサイクル可)	4.4%		
54	缶	スチール缶(リサイクル可)	3.4%	4.1%		
55		アルミ缶(リサイクル可)	0.7%			
56	外袋	プラスチック類	0.2%	0.7%		
57		レジ袋	0.4%			
58		紙袋	0.0%			
59		その他				
合計				100.0%	100.0%	100.0%

表 1-15 家庭ごみの燃やさないごみの組成割合（全体平均）②

		全体平均
燃やすごみ		12.6%
燃やさないごみ		77.0%
資源		9.7%
	紙類	0.7%
	ペットボトル	0.1%
	容器包装プラスチック	0.4%
	発泡スチロール	0.0%
	びん	4.4%
	缶	4.1%
外袋		0.7%
資源化可能物		9.7%
	可燃系資源化可能物	1.2%
	不燃系資源化可能物	8.5%
分別協力率(燃やさないごみ+外袋)		77.7%

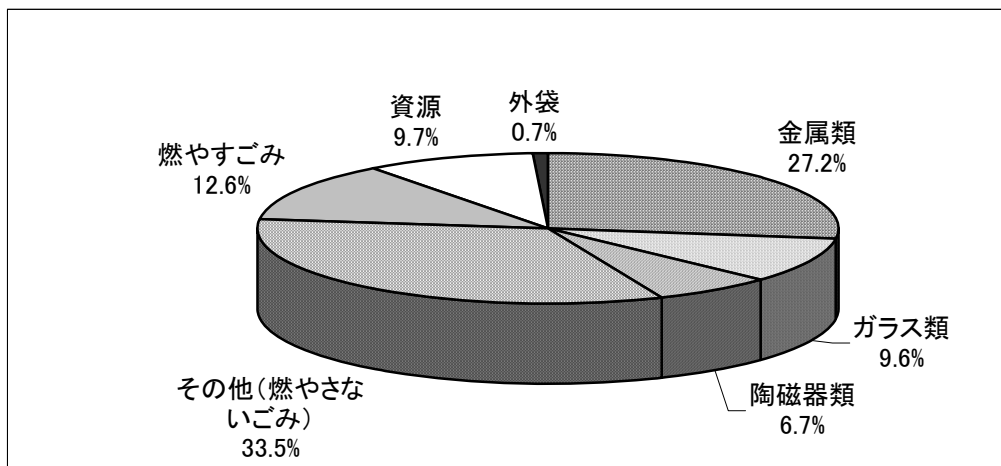


図 1-4 家庭ごみの燃やさないごみの組成割合（全体平均）

②住居形態別

住居形態別の燃やさないごみの組成と全体平均との比較を表 1-16 と表 1-17 及び図 1-5 に示す。分別協力率は、低中層 87.7%が最も高く、次いで、高層 75.1%、戸建て 73.5%の順である。資源化可能物の混入割合は、戸建て 15.1%が最も高く、次いで、低中層 8.8%、高層 8.5%の順である。

表 1-16 家庭ごみの燃やさないごみの組成割合（住居形態別）①

No.	大分類	中分類	細分類	戸建て	低中層	高層	全体平均		
1	燃やすごみ	生ごみ		0.7%		1.0%	0.7%		
2		紙類	新聞(汚れたもの)	0.0%			0.0%		
3			容器包装の紙類(リサイクル不可)		0.0%		0.0%		
4			その他紙類	6.7%			1.2%		
5		プラスチック類	レジ袋(中にごみあり)	0.1%	0.3%	0.4%	0.3%		
6			その他プラスチック	1.0%	2.0%	9.8%	6.5%		
7			容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)						
8		その他	ゴム・皮革類	2.9%	0.3%	1.3%	1.4%		
9			布類	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%		
10			木・草類						
11			医療系廃棄物						
12			その他可燃			0.9%	3.9%	2.6%	
13	燃やさないごみ		金属類	スチール缶(リサイクル不可)	1.3%		0.9%	0.8%	
14		アルミ缶(リサイクル不可)		1.0%			0.2%		
15		危険物(使い切っているもの)		3.1%	3.7%	1.3%	2.2%		
16		危険物(中身が残っているもの)		0.0%	1.0%	2.1%	1.5%		
17		その他の金属類		29.3%	17.5%	22.7%	22.6%		
18		ガラス類	雑びん類(リサイクル不可)	2.1%	3.7%	4.1%	3.7%		
19			蛍光管(割れていないもの)	0.9%	0.2%	1.5%	1.1%		
20			蛍光管(割れているもの)	1.5%			0.3%		
21			その他ガラス類	0.9%	9.7%	3.6%	4.5%		
22		陶磁器類		12.7%	9.8%	3.8%	6.7%		
23		その他	乾電池	3.9%	2.3%	0.8%	1.7%		
24			小型家電(30センチ未満のもの)	10.5%	19.4%	23.9%	20.6%		
25			携帯電話						
26			その他不燃	5.3%	19.5%	9.7%	11.2%		
27			資源	紙類	新聞(きれいなもの)		0.1%	0.1%	0.1%
28					折込広告		0.1%		0.0%
29		雑誌・本							
30		雑がみ					0.1%	0.0%	
31		OA用紙(コピー用紙等)							
32		ダンボール					0.0%	0.6%	0.4%
33		紙バック							
34	容器包装の紙類(リサイクル可)				0.1%	0.0%	0.3%	0.2%	
35	ペットボトル				0.6%			0.1%	
36	容器包装プラスチック	レジ袋(中にごみなし)					0.0%	0.0%	
37		ボトル		0.3%	0.7%	0.1%	0.3%		
38		フタ・キャップ類		0.1%	0.1%	0.0%	0.1%		
39		カップ類							
40		ふくろ類		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
41		チューブ類		0.0%	0.0%		0.0%		
42		食品用バック類							
43		発泡樹脂でないトレイ							
44		その他バック類		0.0%			0.0%		
45		ネット類							
46		ラベル・フィルム類		0.0%			0.0%		
47		ラップ類							
48		その他			0.0%	0.0%			
49	発泡スチロール	発泡トレイ(白)							
50		発泡トレイ(柄)							
51		発泡樹脂容器等			0.0%	0.0%			
52	びん	生きびん類							
53		雑びん類(リサイクル可)	5.3%	6.6%	3.2%	4.4%			
54		缶	5.7%	0.9%	3.7%	3.4%			
55	外袋	アルミ缶(リサイクル可)	2.9%	0.2%	0.2%	0.7%			
56		プラスチック類	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%			
57		レジ袋	0.6%	0.8%	0.3%	0.4%			
58		紙袋			0.1%	0.0%			
59	その他								
合計				100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

表 1-17 家庭ごみの燃やさないごみの組成割合（住居形態別）②

		戸建て	低中層	高層	全体平均
燃やすごみ		11.5%	3.6%	16.4%	12.6%
燃やさないごみ		72.6%	86.7%	74.5%	77.0%
資源		15.1%	8.8%	8.5%	9.7%
	紙類	0.1%	0.3%	1.1%	0.7%
	ペットボトル	0.6%			0.1%
	容器包装プラスチック	0.5%	0.8%	0.2%	0.4%
	発泡スチロール			0.0%	0.0%
	びん	5.3%	6.6%	3.2%	4.4%
	缶	8.6%	1.2%	3.9%	4.1%
外袋		0.8%	1.0%	0.6%	0.7%
資源化可能物		15.1%	8.8%	8.5%	9.7%
	可燃系資源化可能物	1.1%	1.0%	1.3%	1.2%
	不燃系資源化可能物	13.9%	7.7%	7.2%	8.5%
分別協力率(燃やさないごみ+外袋)		73.5%	87.7%	75.1%	77.7%

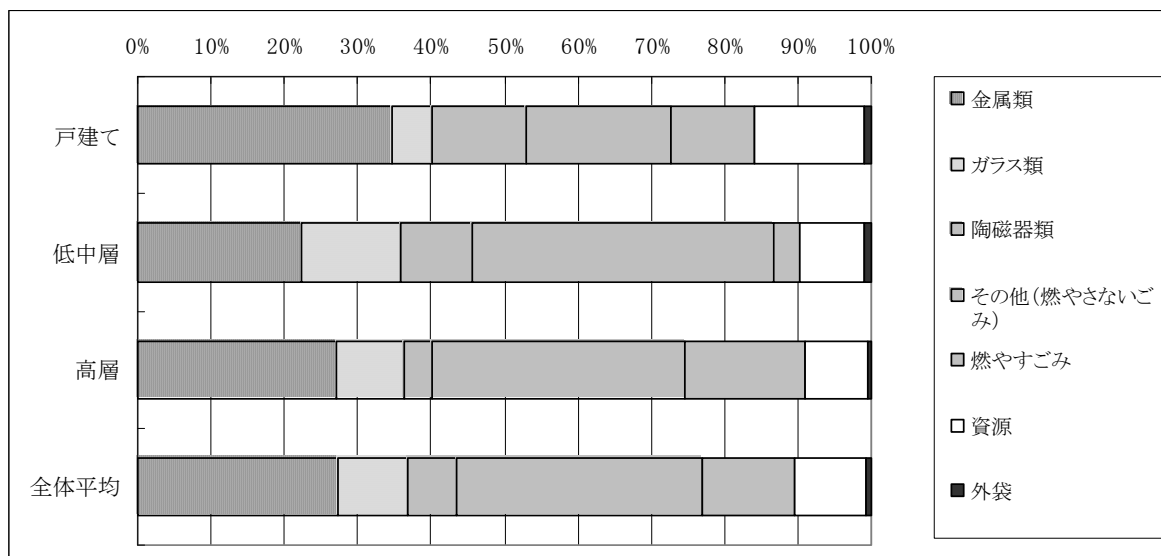


図 1-5 家庭ごみの燃やさないごみの組成割合（住居形態別）

③地域別

地域別の燃やさないごみの組成と全体平均との比較を表1-18と表1-19及び図1-6に示す。分別協力率は、東陽92.6%が最も高く、次いで、千田・千石77.6%、塩浜73.6%の順である。資源化可能物の混入割合は、塩浜17.8%が最も高く、次いで、千田・千石15.9%、南砂6.9%の順である。

表1-18 家庭ごみの燃やさないごみの組成割合（地域別）①

No.	大分類	中分類	細分類	東陽	塩浜	南砂	千田・千石	全体平均	
1	燃やさないごみ	生ごみ		1.5%	0.7%			0.7%	
2		紙類	新聞(汚れたもの)			0.0%			0.0%
3			容器包装の紙類(リサイクル不可)			0.0%			0.0%
4			その他紙類			0.1%	8.9%		1.2%
5			プラスチック類	レジ袋(中にごみあり)	0.2%	0.4%		0.3%	0.3%
6			その他プラスチック	2.1%	3.6%	8.1%	3.3%	6.5%	
7			容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)						
8		その他	ゴム・皮革類		3.5%	0.8%	1.7%	1.4%	
9			布類			0.2%		0.1%	
10			木・草類						
11			医療系廃棄物						
12			その他可燃		1.3%	0.0%	4.0%	1.1%	2.6%
13	燃やさないごみ		金属類	スチール缶(リサイクル不可)	0.1%		3.0%		0.8%
14			アルミ缶(リサイクル不可)			1.3%		0.2%	
15			危険物(使い切っているもの)	3.4%	2.5%	1.9%	3.1%	2.2%	
16			危険物(中身が残っているもの)	1.0%	0.7%	2.2%	0.1%	1.5%	
17			その他の金属類	25.6%	14.9%	12.6%	39.5%	22.6%	
18		ガラス類	雑びん類(リサイクル不可)	2.6%	5.4%	0.5%	4.7%	3.7%	
19			蛍光灯(割れていないもの)	2.3%		0.2%	1.0%	1.1%	
20			蛍光灯(割れているもの)			2.0%		0.3%	
21			その他ガラス類	1.6%	7.1%	6.6%	3.7%	4.5%	
22		陶磁器類		8.8%	14.5%	8.6%	3.3%	6.7%	
23		その他	乾電池	3.1%	5.3%		1.0%	1.7%	
24			小型家電(30センチ未満のもの)	30.9%	17.1%	10.3%	13.6%	20.6%	
25			携帯電話						
26			その他不燃	12.7%	5.4%	21.4%	6.5%	11.2%	
27		資源	紙類	新聞(きれいなもの)	0.1%	0.1%			0.1%
28				折込広告			0.0%	0.1%	0.0%
29	雑誌・本								
30	雑がみ			0.1%				0.0%	
31	OA用紙(コピー用紙等)								
32	ダンボール			0.4%			0.5%	0.4%	
33	ペットボトル		紙バック						
34			容器包装の紙類(リサイクル可)	0.2%	0.1%		0.2%	0.2%	
35				0.4%			0.3%	0.1%	
36			容器包装プラスチック	レジ袋(中にごみなし)		0.0%			0.0%
37				ボトル	0.4%	0.7%		0.4%	0.3%
38				フタ・キャップ類	0.1%	0.1%			0.1%
39		カップ類							
40		ふくろ類	0.0%	0.1%			0.0%		
41		チューブ類	0.0%	0.0%			0.0%		
42		食品用バック類							
43		発泡樹脂でないトレイ							
44		その他バック類	0.0%				0.0%		
45		ネット類							
46		ラベル・フィルム類	0.0%				0.0%		
47		フap類							
48		その他	0.0%				0.0%		
49	発泡スチロール	発泡トレイ(白)							
50		発泡トレイ(柄)							
51		発泡樹脂容器等			0.0%			0.0%	
52	びん	生きびん類							
53		雑びん類(リサイクル可)		9.6%	3.0%	7.6%	4.4%		
54	缶	スチール缶(リサイクル可)		6.7%	0.4%	6.8%	3.4%		
55		アルミ缶(リサイクル可)	0.5%	0.3%	3.5%	0.1%	0.7%		
56	外袋	プラスチック類	0.2%	0.4%	0.0%	0.3%	0.2%		
57		レジ袋	0.3%	0.3%	0.6%	1.0%	0.4%		
58		紙袋			0.1%		0.0%		
59		その他							
合計				100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表 1-19 家庭ごみの燃やさないごみの組成割合（地域別）②

	東陽	塩浜	南砂	千田・千石	全体平均
燃やすごみ	5.1%	8.6%	21.8%	6.4%	12.6%
燃やさないごみ	92.1%	72.9%	70.5%	76.3%	77.0%
資源	2.3%	17.8%	6.9%	15.9%	9.7%
紙類	0.8%	0.3%		0.8%	0.7%
ペットボトル	0.4%			0.3%	0.1%
容器包装プラスチック	0.6%	1.0%		0.4%	0.4%
発泡スチロール		0.0%			0.0%
びん		9.6%	3.0%	7.6%	4.4%
缶	0.5%	7.0%	3.9%	6.9%	4.1%
外袋	0.5%	0.7%	0.7%	1.3%	0.7%
資源化可能物	2.3%	17.8%	6.9%	15.9%	9.7%
可燃系資源化可能物	1.8%	1.3%		1.5%	1.2%
不燃系資源化可能物	0.5%	16.6%	6.9%	14.4%	8.5%
分別協力率(燃やさないごみ+外袋)	92.6%	73.6%	71.2%	77.6%	77.7%

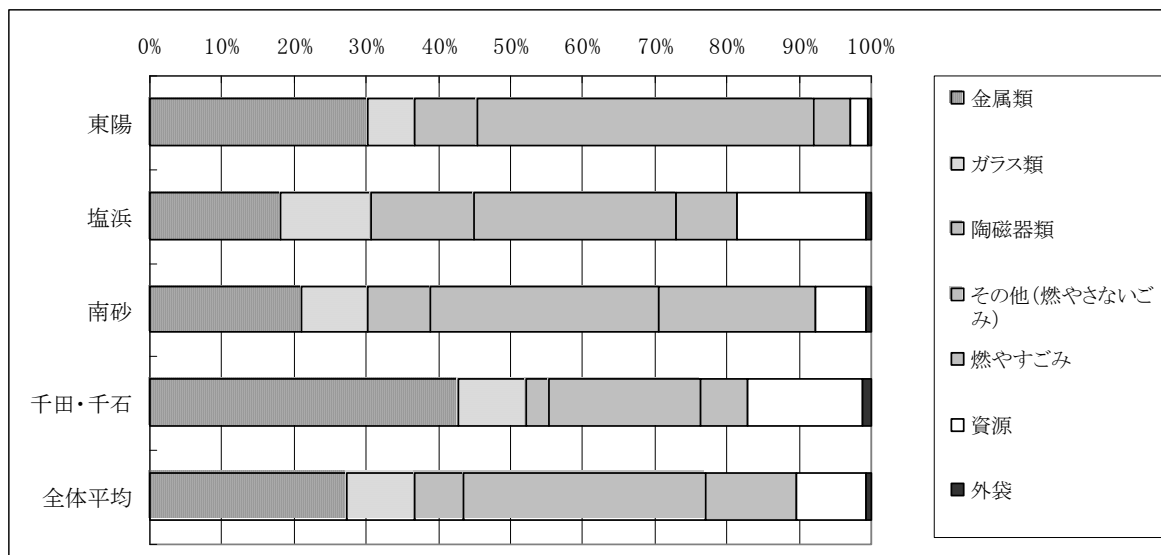


図 1-6 家庭ごみの燃やさないごみの組成割合（地域別）

(3)容器包装プラスチック

①全体平均

容器包装プラスチックの組成の全体平均を表 1-20 と表 1-21 及び図 1-7 に示す。中分類で見た場合、組成割合は、容器包装プラスチック 63.9%が最も多く、次いで、プラスチック類 24.0%、発泡スチロール 2.4%の順である。資源化可能物の混入割合は、可燃系が 3.3%、不燃系が 0.2%、合計が 3.5%である。

表 1-20 家庭ごみの容器包装プラスチックの組成割合（全体平均）①

No.	大分類	中分類	細分類	全体平均	
1	燃やすごみ	生ごみ		1.5%	1.5%
2		紙類	新聞(汚れたもの)		0.8%
3			容器包装の紙類(リサイクル不可)	0.6%	
4			その他紙類	0.2%	
5		プラスチック類	レジ袋(中にごみあり)	1.7%	24.0%
6			その他プラスチック	5.0%	
7			容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)	17.3%	
8		その他	ゴム・皮革類	0.3%	1.7%
9			布類	0.0%	
10			木・草類	1.1%	
11			医療系廃棄物		
12			その他可燃	0.3%	
13	燃やさないごみ	金属類	スチール缶(リサイクル不可)		1.0%
14			アルミ缶(リサイクル不可)	0.0%	
15			危険物(使い切っているもの)	0.4%	
16			危険物(中身が残っているもの)		
17			その他の金属類	0.6%	
18		ガラス類	雑びん類(リサイクル不可)	0.4%	0.6%
19			蛍光灯(割れていないもの)		
20			蛍光灯(割れているもの)		
21			その他ガラス類	0.3%	1.9%
22		陶磁器類			
23	その他	乾電池		0.2%	
24		小型家電(30センチ未満のもの)			
25		携帯電話			
26		その他不燃	0.2%		
27	資源	紙類	新聞(きれいなもの)		0.2%
28			折込広告		
29			雑誌・本		
30			雑がみ	0.1%	
31			OA用紙(コピー用紙等)		
32			ダンボール		
33			紙パック	0.1%	
34		容器包装の紙類(リサイクル可)	0.1%		
35		ペットボトル		0.7%	0.7%
36		容器包装プラスチック	レジ袋(中にごみなし)	2.7%	63.9%
37			ボトル	5.2%	
38			フタ・キャップ類	1.0%	
39			カップ類	6.4%	
40			ふくろ類	22.4%	
41			チューブ類	0.7%	
42			食品用パック類	17.3%	
43			発泡樹脂でないトレイ	3.1%	
44	その他パック類		1.1%		
45	ネット類		0.2%		
46	ラベル・フィルム類		2.8%		
47	ラップ類	0.5%			
48	その他	0.5%			
49	発泡スチロール	発泡トレイ(白)	0.9%	2.4%	
50		発泡トレイ(柄)	1.1%		
51		発泡樹脂容器等	0.4%		
52	びん	生きびん類			
53		雑びん類(リサイクル可)			
54	缶	スチール缶(リサイクル可)	0.2%	0.2%	
55		アルミ缶(リサイクル可)	0.0%		
56	外袋	プラスチック類	1.5%	2.8%	
57		レジ袋	1.3%		
58		紙袋			
59		その他			
合計				100.0%	100.0%

表 1-21 家庭ごみの容器包装プラスチックの組成割合（全体平均）②

		全体平均
燃やすごみ		28.0%
燃やさないごみ		1.9%
資源		67.3%
	紙類	0.2%
	ペットボトル	0.7%
	容器包装プラスチック	63.9%
	発泡スチロール	2.4%
	びん	
	缶	0.2%
外袋		2.8%
資源化可能物		3.5%
	可燃系資源化可能物	3.3%
	不燃系資源化可能物	0.2%

※資源化可能物は容器包装プラスチックを除いて算出

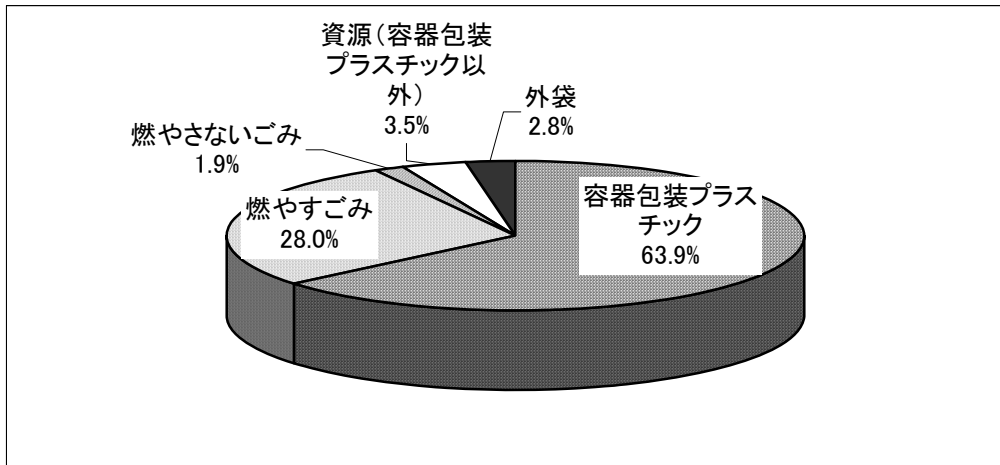


図 1-7 家庭ごみの容器包装プラスチックの組成割合（全体平均）

②住居形態別

住居形態別の容器包装プラスチックの組成と全体平均との比較を表 1-22 と表 1-23 及び図 1-8 に示す。資源化可能物の混入割合は、低中層 4.3%が最も高く、次いで、高層 3.3%、戸建て 3.0%の順である。

表 1-22 家庭ごみの容器包装プラスチックの組成割合（住居形態別）①

No.	大分類	中分類	細分類	戸建て	低中層	高層	全体平均	
1	燃やすごみ	生ごみ		0.6%	2.2%	1.4%	1.5%	
2		紙類	新聞(汚れたもの)					
3			容器包装の紙類(リサイクル不可)	0.2%	0.5%	0.8%	0.6%	
4		プラスチック類	その他紙類	0.2%	0.4%	0.1%	0.2%	
5			レジ袋(中にごみあり)	1.8%	1.5%	1.7%	1.7%	
6			その他プラスチック	9.8%	6.3%	3.1%	5.0%	
7			容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)	18.7%	18.0%	16.7%	17.3%	
8		その他	ゴム・皮革類		1.1%		0.3%	
9			布類			0.0%	0.0%	
10			木・草類		0.5%	1.7%	1.1%	
11			医療系廃棄物					
12			その他可燃		0.2%	1.1%		0.3%
13			燃やさないごみ	金属類	スチール缶(リサイクル不可)			
14	アルミ缶(リサイクル不可)	0.1%					0.0%	
15	危険物(使い切っているもの)	0.1%				0.6%	0.4%	
16	危険物(中身が残っているもの)							
17	その他の金属類	0.1%			1.9%	0.2%	0.6%	
18	ガラス類	雑びん類(リサイクル不可)			1.2%	0.2%	0.4%	
19		蛍光管(割れていないもの)						
20		蛍光管(割れているもの)						
21		その他ガラス類				0.5%	0.3%	
22	陶磁器類							
23	その他	乾電池						
24		小型家電(30センチ未満のもの)						
25		携帯電話						
26		その他不燃		0.7%	0.1%	0.2%		
27	資源	紙類	新聞(きれいなもの)					
28			折込広告					
29			雑誌・本					
30			雑がみ	0.2%		0.0%	0.1%	
31			OA用紙(コピー用紙等)					
32			ダンボール					
33			紙バック				0.1%	0.1%
34			容器包装の紙類(リサイクル可)	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	
35			ペットボトル	0.1%	0.9%	0.8%	0.7%	
36			容器包装プラスチック	レジ袋(中にごみなし)	2.1%	4.0%	2.3%	2.7%
37		ボトル		5.6%	7.1%	4.3%	5.2%	
38		フタ・キャップ類		2.2%	1.5%	0.5%	1.0%	
39		カップ類		7.2%	3.3%	7.4%	6.4%	
40		ふくろ類		21.7%	17.4%	24.6%	22.4%	
41		チューブ類		0.3%	0.4%	1.0%	0.7%	
42		食品用バック類		15.9%	16.5%	18.1%	17.3%	
43		発泡樹脂でないトレイ		3.5%	3.2%	3.0%	3.1%	
44		その他バック類		0.9%	0.5%	1.3%	1.1%	
45		ネット類		0.1%	0.0%	0.2%	0.2%	
46		ラベル・フィルム類	2.3%	2.9%	2.8%	2.8%		
47		フリップ類	0.3%	0.4%	0.6%	0.5%		
48		その他	0.5%	0.4%	0.5%	0.5%		
49		発泡スチロール	発泡トレイ(白)	0.9%	1.6%	0.6%	0.9%	
50			発泡トレイ(柄)	1.6%	1.7%	0.7%	1.1%	
51			発泡樹脂容器等	0.1%	0.1%	0.7%	0.4%	
52		びん	生きびん類					
53			雑びん類(リサイクル可)					
54	缶	スチール缶(リサイクル可)			0.3%	0.2%		
55		アルミ缶(リサイクル可)	0.1%			0.0%		
56	外袋	プラスチック類	2.0%	1.7%	1.3%	1.5%		
57		レジ袋	0.9%	0.8%	1.6%	1.3%		
58		紙袋						
59		その他						
合計				100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表 1-23 家庭ごみの容器包装プラスチックの組成割合（住居形態別）②

		戸建て	低中層	高層	全体平均
燃やすごみ		31.5%	31.6%	25.6%	28.0%
燃やさないごみ		0.3%	3.8%	1.6%	1.9%
資源		65.4%	62.1%	69.9%	67.3%
	紙類	0.3%	0.0%	0.2%	0.2%
	ペットボトル	0.1%	0.9%	0.8%	0.7%
	容器包装プラスチック	62.4%	57.7%	66.6%	63.9%
	発泡スチロール	2.5%	3.4%	2.0%	2.4%
	びん				
	缶	0.1%		0.3%	0.2%
外袋		2.8%	2.5%	2.9%	2.8%
資源化可能物		3.0%	4.3%	3.3%	3.5%
	可燃系資源化可能物	3.0%	4.3%	3.0%	3.3%
	不燃系資源化可能物	0.1%		0.3%	0.2%

※資源化可能物は容器包装プラスチックを除いて算出

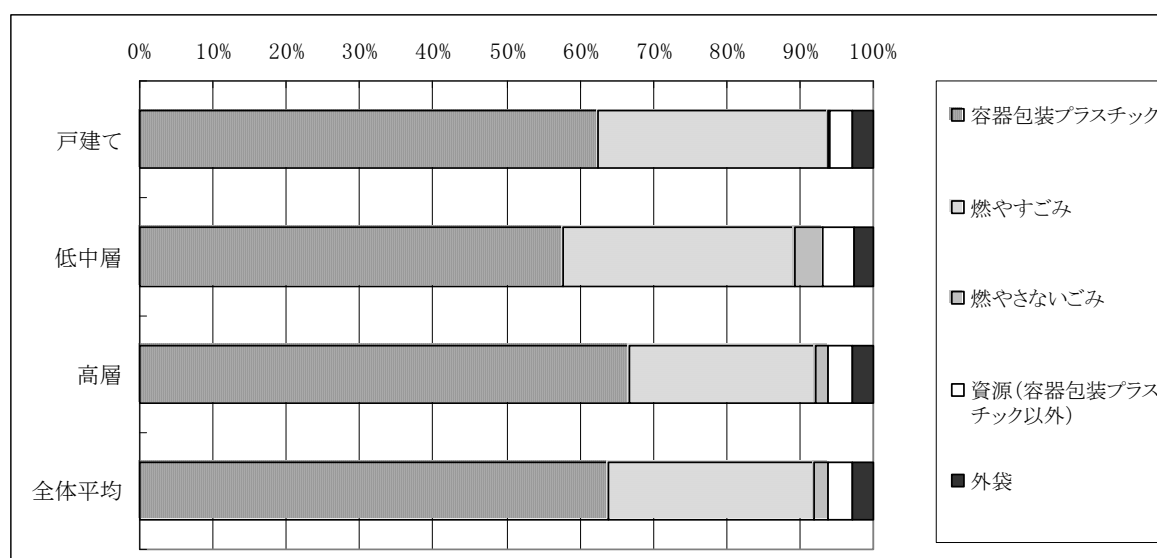


図 1-8 家庭ごみの容器包装プラスチックの組成割合（住居形態別）

③地域別

地域別の容器包装プラスチックの組成と全体平均との比較を表 1-24 と表 1-25 及び図 1-9 に示す。資源化可能物の混入割合は、塩浜 4.8%が最も高く、次いで、南砂 4.7%、東陽 3.0%の順である。

表 1-24 家庭ごみの容器包装プラスチックの組成割合（地域別）①

No.	大分類	中分類	細分類	東陽	塩浜	南砂	千田・千石	全体平均		
1	燃やさないごみ	生ごみ		3.9%	0.9%	0.9%		1.5%		
2		紙類	新聞(汚れたもの)							
3			容器包装の紙類(リサイクル不可)			0.1%	0.4%	1.5%	0.6%	
4			その他紙類		0.2%	0.5%	0.2%		0.2%	
5		プラスチック類	レジ袋(中にごみあり)		1.5%	1.9%	1.0%	2.2%	1.7%	
6			その他プラスチック		2.6%	5.9%	9.3%	7.8%	5.0%	
7			容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)		14.7%	17.4%	15.0%	24.1%	17.3%	
8		その他	ゴム・皮革類		0.2%	1.3%			0.3%	
9			布類					0.1%	0.0%	
10			木・草類		0.1%	0.1%	0.5%	2.2%	1.1%	
11			医療系廃棄物							
12			その他可燃		0.2%	1.1%	0.5%		0.3%	
13	燃やさないごみ		金属類	スチール缶(リサイクル不可)						
14		アルミ缶(リサイクル不可)				0.1%		0.0%		
15		危険物(使い切っているもの)			0.8%			0.1%	0.4%	
16		危険物(中身が残っているもの)								
17		その他の金属類		0.7%	0.4%	1.7%	0.3%	0.6%		
18		ガラス類	雑びん類(リサイクル不可)		1.6%			0.2%	0.4%	
19			蛍光灯(割れていないもの)							
20			蛍光灯(割れているもの)							
21			その他ガラス類				0.6%	0.3%		
22		陶磁器類								
23		その他	乾電池							
24			小型家電(30センチ未満のもの)							
25	携帯電話									
26	その他不燃			0.1%			1.1%	0.2%		
27	資源	紙類	新聞(きれいなもの)							
28			折込広告							
29			雑誌・本							
30			雑がみ			0.0%		0.3%	0.1%	
31			OA用紙(コピー用紙等)							
32			ダンボール							
33			紙バック			0.1%			0.1%	
34		容器包装の紙類(リサイクル可)			0.1%	0.2%		0.1%		
35		ペットボトル			0.9%	1.6%		0.7%		
36		容器包装プラスチック	レジ袋(中にごみなし)	2.1%	6.3%	2.0%	0.7%	2.7%		
37			ボトル	7.7%	7.5%	4.7%	2.7%	5.2%		
38			フタ・キャップ類	0.8%	2.0%	1.5%	1.2%	1.0%		
39	カップ類		6.2%	4.1%	3.9%	9.7%	6.4%			
40	ふくろ類		23.0%	12.7%	31.5%	17.7%	22.4%			
41	チューブ類		0.7%	0.7%	0.8%	0.2%	0.7%			
42	食品用バック類		21.6%	14.5%	13.1%	18.1%	17.3%			
43	発泡樹脂でないトレイ		1.6%	8.2%	2.7%	0.4%	3.1%			
44	その他バック類		0.9%	1.3%	0.4%	1.0%	1.1%			
45	ネット類		0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%			
46	ラベル・フィルム類		2.0%	4.2%	1.8%	2.7%	2.8%			
47	フープ類		0.3%	0.3%	0.2%	1.0%	0.5%			
48	その他	0.7%	0.6%	0.2%	0.4%	0.5%				
49	発泡スチロール	発泡トレイ(白)	1.2%	1.1%	1.3%	0.6%	0.9%			
50		発泡トレイ(柄)	1.3%	1.8%	1.5%	0.7%	1.1%			
51		発泡樹脂容器等	0.6%	0.2%	0.3%	0.1%	0.4%			
52	びん	生きびん類								
53		雑びん類(リサイクル可)								
54	缶	スチール缶(リサイクル可)		0.4%			0.2%			
55		アルミ缶(リサイクル可)			0.1%		0.0%			
56	外袋	プラスチック類		1.7%	2.2%	1.2%	1.6%	1.5%		
57			レジ袋		1.1%	0.6%	1.7%	0.8%	1.3%	
58		紙袋								
59		その他								
合計				100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

表 1-25 家庭ごみの容器包装プラスチックの組成割合（地域別）②

	東陽	塩浜	南砂	千田・千石	全体平均
燃やすごみ	23.3%	29.3%	27.8%	37.9%	28.0%
燃やさないごみ	3.1%	0.4%	1.7%	2.3%	1.9%
資源	70.8%	67.4%	67.6%	57.4%	67.3%
紙類		0.3%	0.2%	0.3%	0.2%
ペットボトル		0.9%	1.6%		0.7%
容器包装プラスチック	67.7%	62.6%	62.9%	55.8%	63.9%
発泡スチロール	3.0%	3.1%	3.0%	1.3%	2.4%
びん					
缶		0.4%			0.2%
外袋	2.8%	2.9%	2.9%	2.4%	2.8%
資源化可能物	3.0%	4.8%	4.7%	1.6%	3.5%
可燃系資源化可能物	3.0%	4.3%	4.7%	1.6%	3.3%
不燃系資源化可能物		0.4%			0.2%

※資源化可能物は容器包装プラスチックを除いて算出

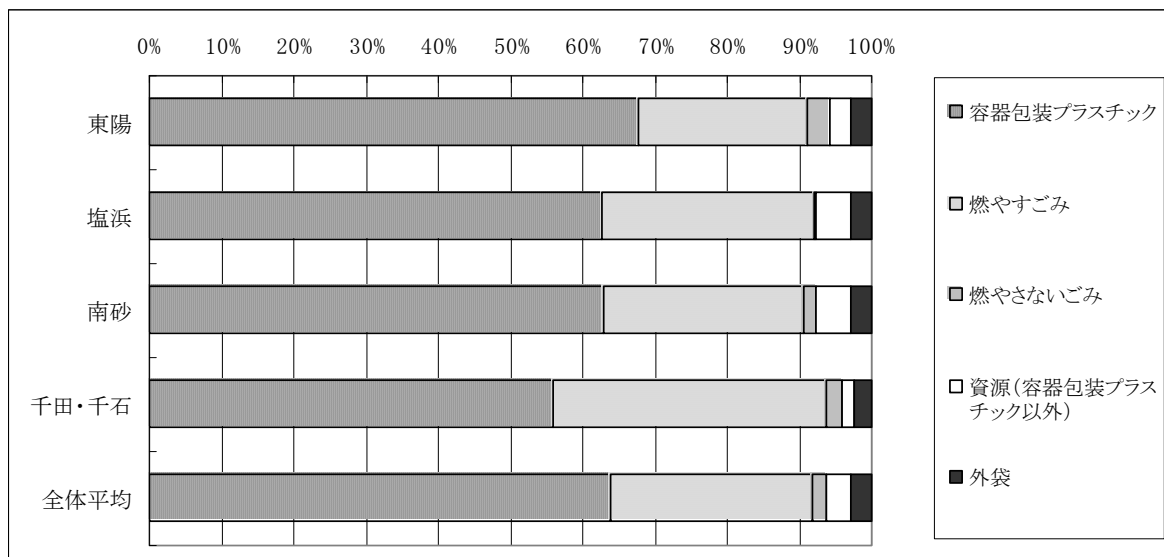


図 1-9 家庭ごみの容器包装プラスチックの組成割合（地域別）

1.7 事業系ごみの組成

(1) 燃やすごみ

① 全体平均

燃やすごみの組成の全体平均を表 1-26 と表 1-27 及び図 1-10 に示す。中分類で見た場合、組成割合は、生ごみ 49.5%が最も多く、次いで、容器包装プラスチック 16.4%、紙類（資源）12.3%の順である。分別協力率は 86.1%で、資源化可能物の混入割合は、可燃系が 30.2%、不燃系が 0.5%、合計が 30.8%である。

表 1-26 事業系ごみの燃やすごみの組成割合（全体平均）①

No.	大分類	中分類	細分類	全体平均	
1	燃やすごみ	生ごみ		49.5%	49.5%
2		紙類	新聞(汚れたもの)	1.0%	8.3%
3			容器包装の紙類(リサイクル不可)	1.1%	
4			その他紙類	6.2%	
5			プラスチック類	レジ袋(中にごみあり)	
6		その他プラスチック		4.5%	
7		容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)		4.5%	
8		その他	ゴム・皮革類	0.2%	6.2%
9			布類	0.1%	
10			木・草類	2.8%	
11			医療系廃棄物	3.1%	
12			その他可燃	3.1%	
13	燃やさないごみ	金属類	スチール缶(リサイクル不可)		0.1%
14			アルミ缶(リサイクル不可)		
15			危険物(使い切っているもの)	0.1%	
16			危険物(中身が残っているもの)		
17			その他の金属類	0.1%	0.2%
18		ガラス類	雑びん類(リサイクル不可)	0.1%	
19			蛍光灯(割れていないもの)		
20			蛍光灯(割れているもの)		
21			その他ガラス類		
22		陶磁器類			
23		その他	乾電池		0.0%
24			小型家電(30センチ未満のもの)		
25	携帯電話				
26	その他不燃		0.0%		
27	資源	紙類	新聞(きれいなもの)	0.4%	12.3%
28			折込広告	0.3%	
29			雑誌・本	0.4%	
30			雑がみ	6.4%	
31			OA用紙(コピー用紙等)	1.9%	
32			タコボール	0.4%	
33			紙バック	0.2%	
34		容器包装の紙類(リサイクル可)	2.3%		
35		ペットボトル		0.8%	30.8%
36		容器包装プラスチック	レジ袋(中にごみなし)	0.1%	
37			ボトル	0.2%	
38			フタ・キャップ類	0.0%	
39	カップ類		0.1%		
40	ふくろ類		7.6%		
41	チューブ類				
42	食品用バック類		2.3%		
43	発泡樹脂でないトレイ		3.5%		
44	その他バック類		0.0%		
45	ネット類				
46	アパレル・ファイル類		1.7%		
47	ラップ類	0.5%			
48	その他	0.4%			
49	発泡スチロール	発泡トレイ(白)	0.6%	0.7%	
50		発泡トレイ(柄)	0.0%		
51		発泡樹脂容器等	0.1%		
52	びん	生きびん類		0.5%	
53		雑びん類(リサイクル可)	0.5%		
54	缶	スチール缶(リサイクル可)		0.0%	
55		アルミ缶(リサイクル可)			
56	外袋	プラスチック類	0.4%	0.4%	
57		レジ袋			
58		紙袋			
59		その他			
合計				100.0%	100.0%

※事業系ごみはNo.7 容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)の分類はない。

表 1-27 事業系ごみの燃やすごみの組成割合（全体平均）②

		全体平均
燃やすごみ		68.7%
燃やさないごみ		0.2%
資源		30.8%
	紙類	12.3%
	ペットボトル	0.8%
	容器包装プラスチック	16.4%
	発泡スチロール	0.7%
	びん	0.5%
	缶	0.0%
外袋		0.4%
資源化可能物		30.8%
	可燃系資源化可能物	30.2%
	不燃系資源化可能物	0.5%
分別協効率(燃やすごみ+容器包装プラスチック+発泡スチロール+外袋)		86.1%

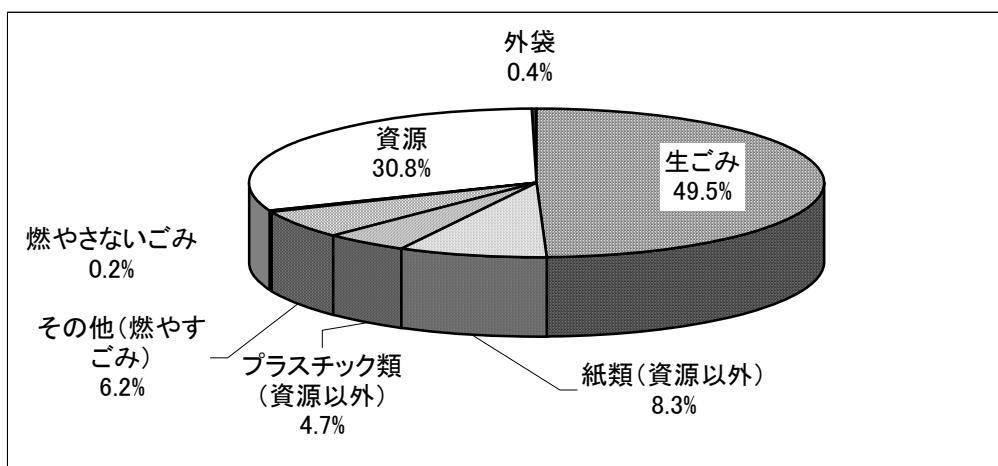


図 1-10 事業系ごみの燃やすごみの組成割合（全体平均）

②業種別

業種別の燃やすごみの組成と全体平均との比較を表1-28と表1-29及び図1-11に示す。分別協力率は、飲食店98.5%が最も高く、次いで、販売店87.3%、製造業72.5%の順である。資源化可能物の混入割合は、製造業57.9%が最も高く、次いで、販売店25.8%、飲食店8.6%の順である。

表1-28 事業系ごみの燃やすごみの組成割合（業種別）①

No.	大分類	中分類	細分類	飲食店	販売店	製造業	全体平均	
1	燃やすごみ	生ごみ		82.0%	60.5%	6.0%	49.5%	
2		紙類	新聞(汚れたもの)	1.2%	1.5%	0.2%	1.0%	
3			容器包装の紙類(リサイクル不可)	1.4%	1.4%	0.6%	1.1%	
4			その他紙類	1.4%	7.6%	9.5%	6.2%	
5		プラスチック類	レジ袋(中にごみあり)	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%	
6			その他プラスチック	1.3%	0.8%	11.5%	4.5%	
7			容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)					
8		その他	ゴム・皮革類		0.5%	0.1%	0.2%	
9			布類	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	
10			木・草類	3.5%	0.1%	4.9%	2.8%	
11			医療系廃棄物					
12			その他可燃		0.0%	0.8%	8.5%	3.1%
13			燃やさないごみ	金属類	スチール缶(リサイクル不可)			
14	アルミ缶(リサイクル不可)							
15	危険物(使い切っているもの)					0.2%	0.1%	
16	危険物(中身が残っているもの)							
17	その他の金属類				0.2%		0.1%	
18	ガラス類	雑びん類(リサイクル不可)			0.2%		0.1%	
19		蛍光灯(割れていないもの)						
20		蛍光灯(割れているもの)						
21		その他ガラス類						
22	陶磁器類							
23	その他	乾電池						
24		小型家電(30センチ未満のもの)						
25		携帯電話						
26		その他不燃	0.0%		0.0%	0.0%		
27	資源	紙類	新聞(きれいなもの)	0.3%	0.0%	0.8%	0.4%	
28			折込広告	0.7%		0.3%	0.3%	
29			雑誌・本		0.5%	0.6%	0.4%	
30			雑がみ	0.0%	4.8%	14.3%	6.4%	
31			OA用紙(コピー用紙等)		0.9%	4.9%	1.9%	
32			ダンボール	0.1%	0.8%	0.4%	0.4%	
33			紙パック	0.0%	0.1%	0.4%	0.2%	
34			容器包装の紙類(リサイクル可)	0.0%	4.9%	2.0%	2.3%	
35			ペットボトル		0.1%	0.1%	2.4%	0.8%
36			容器包装プラスチック	レジ袋(中にごみなし)	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
37				ボトル	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
38				フタ・キャップ類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
39				カップ類		0.1%	0.1%	0.1%
40		ふくろ類		4.4%	6.9%	11.6%	7.6%	
41		チューブ類						
42		食品用パック類		0.6%	1.6%	4.6%	2.3%	
43		発泡樹脂でないトレイ			2.4%	8.1%	3.5%	
44		その他パック類			0.1%	0.0%	0.0%	
45		ネット類						
46		ラベル・フィルム類	0.1%	0.5%	4.4%	1.7%		
47		ラップ類		0.2%	1.3%	0.5%		
48		その他	0.0%	1.2%	0.0%	0.4%		
49		発泡スチロール	発泡トレイ(白)	1.7%		0.0%	0.6%	
50			発泡トレイ(柄)	0.0%		0.0%	0.0%	
51			発泡樹脂容器等		0.1%	0.3%	0.1%	
52		びん	生きびん類					
53			雑びん類(リサイクル可)	0.2%	0.2%	1.2%	0.5%	
54	缶	スチール缶(リサイクル可)		0.1%		0.0%		
55		アルミ缶(リサイクル可)						
56	外袋	プラスチック類		0.3%	0.5%	0.3%	0.4%	
57		レジ袋						
58		紙袋						
59		その他						
合計				100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

※事業系ごみはNo.7 容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)の分類はない。

表 1-29 事業系ごみの燃やすごみの組成割合（業種別）②

		飲食店	販売店	製造業	全体平均
燃やすごみ		91.1%	73.4%	41.6%	68.7%
燃やさないごみ		0.0%	0.3%	0.2%	0.2%
資源		8.6%	25.8%	57.9%	30.8%
	紙類	1.2%	12.0%	23.7%	12.3%
	ペットボトル	0.1%	0.1%	2.4%	0.8%
	容器包装プラスチック	5.4%	13.4%	30.3%	16.4%
	発泡スチロール	1.7%	0.1%	0.4%	0.7%
	びん	0.2%	0.2%	1.2%	0.5%
	缶		0.1%		0.0%
外袋		0.3%	0.5%	0.3%	0.4%
資源化可能物		8.6%	25.8%	57.9%	30.8%
	可燃系資源化可能物	8.4%	25.6%	56.8%	30.2%
	不燃系資源化可能物	0.2%	0.2%	1.2%	0.5%
分別協力率(燃やすごみ+容器包装プラスチック+発泡スチロール+外袋)		98.5%	87.3%	72.5%	86.1%

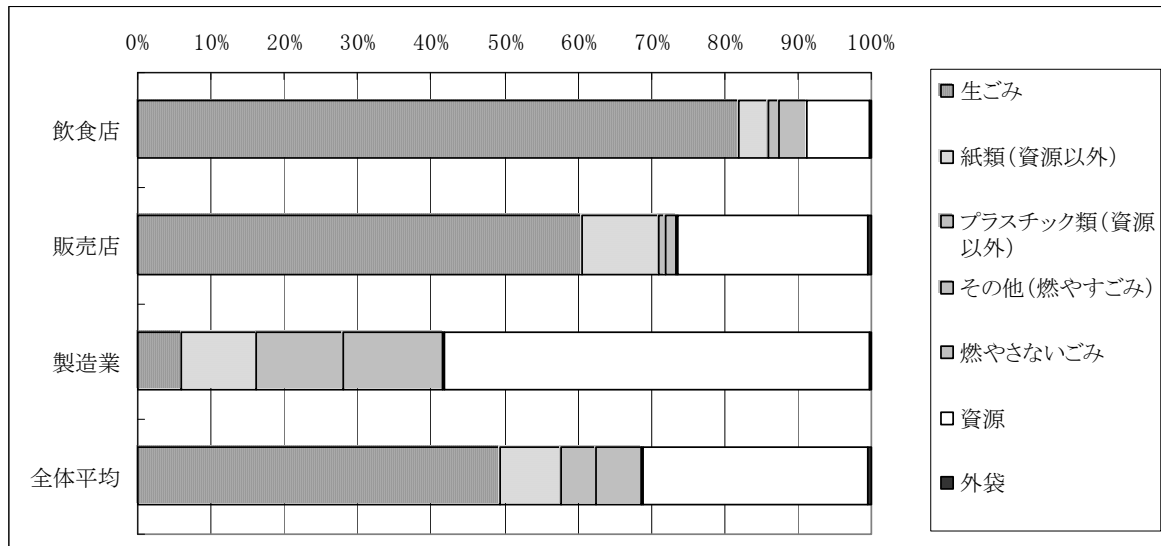


図 1-11 事業系ごみの燃やすごみの組成割合（業種別）

(2)燃やさないごみ

①全体平均

燃やさないごみの組成の全体平均を表 1-30 と表 1-31 及び図 1-12 に示す。中分類で見た場合、組成割合は、金属類 60.7%が最も多く、次いで、プラスチック類 13.1%、陶磁器類 12.0%の順である。分別協力量率は 78.8%で、資源化可能物の混入割合は、可燃系が 1.3%、不燃系が 6.6%、合計が 7.9%である。

表 1-30 事業系ごみの燃やさないごみの組成割合（全体平均）①

No.	大分類	中分類	細分類	全体平均		
1	燃やすごみ	生ごみ	新聞(汚れたもの)			
2			紙類	容器包装の紙類(リサイクル不可)		
3			その他紙類			
4		プラスチック類	レジ袋(中にごみあり)	0.0%	13.1%	13.3%
5			その他プラスチック	13.0%		
6			容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)			
7		その他	ゴム・皮革類	0.3%	0.3%	
8			布類			
9			木・草類			
10			医療系廃棄物			
11			その他可燃			
12		燃やさないごみ	金属類	スチール缶(リサイクル不可)		
13	アルミ缶(リサイクル不可)					
14	危険物(使い切っているもの)			15.4%		
15	危険物(中身が残っているもの)			0.6%		
16	その他の金属類			44.7%		
17	ガラス類		雑びん類(リサイクル不可)		0.1%	78.4%
18			蛍光灯(割れていないもの)			
19			蛍光灯(割れているもの)			
20	その他ガラス類		0.1%			
21	陶磁器類			12.0%	12.0%	
22		その他	乾電池			
23			小型家電(30センチ未満のもの)	0.9%	5.6%	
24			携帯電話			
25	その他不燃		4.7%			
26	資源	紙類	新聞(きれいなもの)			
27			折込広告			
28			雑誌・本			
29			雑がみ			
30			OA用紙(コピー用紙等)			
31			ダンボール			
32			紙パック			
33			容器包装の紙類(リサイクル可)			
34			ペットボトル	0.3%	0.3%	
35		容器包装プラスチック	レジ袋(中にごみなし)	0.0%	0.9%	
36			ボトル	0.0%		
37			フタ・キャップ類			
38			カップ類	0.5%		
39			ふくろ類	0.0%		
40			チューブ類			
41			食品用パック類	0.4%		
42			発泡樹脂でないトレイ			
43			その他パック類	0.0%		
44			ネット類			
45	発泡スチロール	フエル・フィルム類				
46		ラップ類				
47		その他				
48	びん	発泡トレイ(白)		1.7%		
49		発泡トレイ(柄)				
50		発泡樹脂容器等				
51	缶	生きびん類		1.7%		
52		雑びん類(リサイクル可)	1.7%			
53		スチール缶(リサイクル可)	3.9%		4.9%	
54	アルミ缶(リサイクル可)	1.0%				
55	外袋	プラスチック類	0.3%	0.4%		
56		レジ袋	0.0%			
57		紙袋				
58		その他				
59	合計			100.0%	100.0%	100.0%

※事業系ごみはNo.7 容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)の分類はない。

表 1-31 事業系ごみの燃やさないごみの組成割合（全体平均）②

		全体平均
燃やすごみ		13.3%
燃やさないごみ		78.4%
資源		7.9%
	紙類	
	ペットボトル	0.3%
	容器包装プラスチック	0.9%
	発泡スチロール	
	びん	1.7%
	缶	4.9%
外袋		0.4%
資源化可能物		7.9%
	可燃系資源化可能物	1.3%
	不燃系資源化可能物	6.6%
分別協力率(燃やさないごみ+外袋)		78.8%

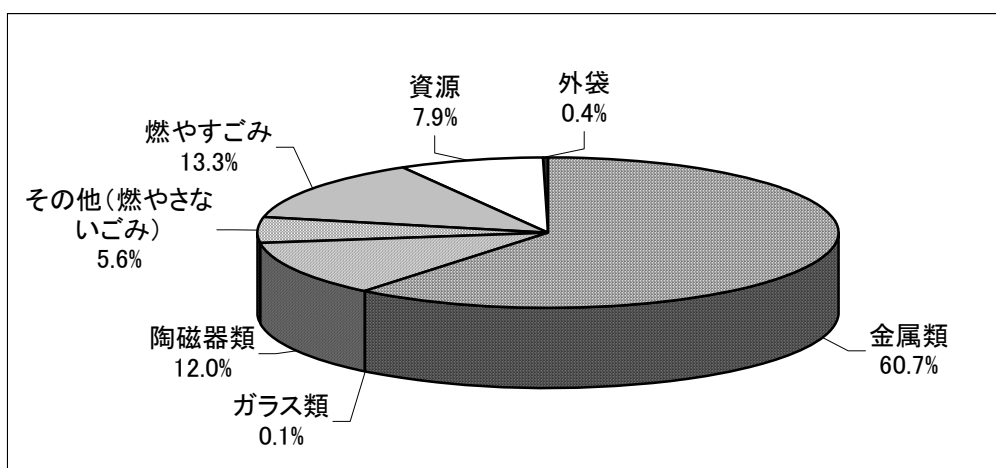


図 1-12 事業系ごみの燃やさないごみの組成割合（全体平均）

②業種別

業種別の燃やさないごみの組成と全体平均との比較を表 1-32 と表 1-33 及び図 1-13 に示す。分別協力率は、飲食店 96.7%が最も高く、次いで、販売店 83.2%、製造業 56.4%の順である。資源化可能物の混入割合は、製造業 20.3%が最も高く、次いで、飲食店 3.3%、販売店 0.1%の順である。

表 1-32 事業系ごみの燃やさないごみの組成割合（業種別）①

No.	大分類	中分類	細分類	飲食店	販売店	製造業	全体平均	
1	燃やすごみ	生ごみ						
2		紙類	新聞(汚れたもの)					
3			容器包装の紙類(リサイクル不可)					
4			その他紙類					
5		プラスチック類	レジ袋(中にごみあり)		0.1%	0.1%	0.0%	
6			その他プラスチック		16.5%	22.6%	13.0%	
7			容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)					
8		その他	ゴム・皮革類		0.2%	0.6%	0.3%	
9			布類					
10			木・草類					
11			医療系廃棄物					
12			その他可燃					
13		燃やさないごみ	金属類	スチール缶(リサイクル不可)				
14	アルミ缶(リサイクル不可)							
15	危険物(使い切っているもの)			46.1%		0.2%	15.4%	
16	危険物(中身が残っているもの)			1.8%			0.6%	
17	その他の金属類			39.5%	52.0%	42.6%	44.7%	
18	ガラス類		雑びん類(リサイクル不可)					
19			蛍光灯(割れていないもの)					
20			蛍光灯(割れているもの)					
21			その他ガラス類		0.2%		0.1%	
22	陶磁器類			6.4%	27.9%	1.8%	12.0%	
23	その他		乾電池					
24			小型家電(30センチ未満のもの)	2.1%	0.5%		0.9%	
25			携帯電話					
26			その他不燃	0.3%	2.5%	11.4%	4.7%	
27	資源		紙類	新聞(きれいなもの)				
28				折込広告				
29		雑誌・本						
30		雑がみ						
31		OA用紙(コピー用紙等)						
32		ダンボール						
33		紙パック						
34		容器包装の紙類(リサイクル可)						
35		ペットボトル			0.6%		0.4%	0.3%
36		容器包装プラスチック		レジ袋(中にごみなし)		0.0%		0.0%
37			ボトル			0.0%	0.0%	
38			フタ・キャップ類					
39			カップ類		1.4%			0.5%
40			ふくろ類			0.0%		0.0%
41			チューブ類					
42			食品用パック類		1.2%			0.4%
43			発泡樹脂でないトレイ					
44			その他パック類			0.0%		0.0%
45			ネット類					
46			ラベル・フィルム類					
47			ラップ類					
48			その他					
49		発泡スチロール	発泡トレイ(白)					
50			発泡トレイ(柄)					
51			発泡樹脂容器等					
52		びん	生きびん類					
53			雑びん類(リサイクル可)			5.0%	1.7%	
54		缶	スチール缶(リサイクル可)			11.8%	3.9%	
55			アルミ缶(リサイクル可)			3.1%	1.0%	
56		外袋	プラスチック類		0.5%	0.1%	0.4%	0.3%
57			レジ袋		0.1%			0.0%
58			紙袋					
59			その他					
合計				100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

※事業系ごみはNo.7 容器包装プラスチック(汚れ・残留物あり)の分類はない。

表 1-33 事業系ごみの燃やさないごみの組成割合（業種別）②

		飲食店	販売店	製造業	全体平均
燃やすごみ			16.8%	23.3%	13.3%
燃やさないごみ		96.1%	83.0%	56.0%	78.4%
資源		3.3%	0.1%	20.3%	7.9%
	紙類				
	ペットボトル	0.6%		0.4%	0.3%
	容器包装プラスチック	2.6%	0.1%	0.0%	0.9%
	発泡スチロール				
	びん			5.0%	1.7%
	缶			14.8%	4.9%
外袋		0.6%	0.1%	0.4%	0.4%
資源化可能物		3.3%	0.1%	20.3%	7.9%
	可燃系資源化可能物	3.3%	0.1%	0.4%	1.3%
	不燃系資源化可能物			19.8%	6.6%
分別協力率(燃やさないごみ+外袋)		96.7%	83.2%	56.4%	78.8%

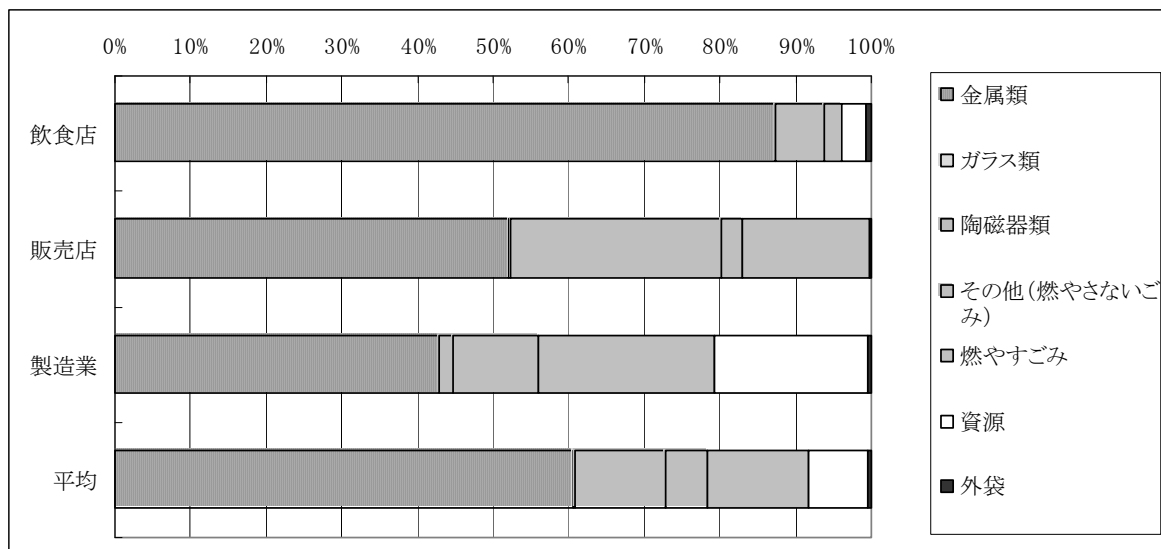


図 1-13 事業系ごみの燃やさないごみの組成割合（業種別）

1.8 排出容器の使用状況

(1)家庭ごみ

家庭ごみの排出容器の使用状況を表 1-34 に示す。燃やすごみでは、排出容器全体の平均重量は 3.42kg で、最も個数が多かったのはプラスチック製の袋で 90.4%を占めている。

燃やさないごみでは、排出容器全体の平均重量は 1.84kg で、最も個数が多かったのはレジ袋で 70.6%を占めている。

容器包装プラスチックでは、排出容器全体の平均重量は 0.61kg で、最も個数が多かったのはプラスチック製の袋で 54.6%を占めている。

表 1-34 家庭ごみの排出容器の使用状況

	燃やすごみ				燃やさないごみ				容器包装プラスチック			
	個数		重量 (kg)	平均 (kg/個)	個数		重量 (kg)	平均 (kg/個)	個数		重量 (kg)	平均 (kg/個)
	(個)	割合			(個)	割合			(個)	割合		
レジ袋	20	8.8%	26.79	1.34	72	70.6%	87.8	1.22	62	44.0%	19.05	0.31
プラスチック製の袋	206	90.4%	750.57	3.64	22	21.6%	87.85	3.99	77	54.6%	66.08	0.86
紙袋					1	1.0%	1.73	1.73				
段ボール	2	0.9%	3.23	1.62								
ひもで結束												
ばら					6	5.9%	5.5	0.92	2	1.4%	0.69	0.35
その他					1	1.0%	4.71	4.71				
合計	228		780.59	3.42	102		187.59	1.84	141		85.82	0.61

(2)事業系ごみ

事業系ごみの排出容器の使用状況を表 1-35 に示す。燃やすごみでは、排出容器全体の平均重量は 8.29kg で、最も個数が多かったのはプラスチック製の袋で 90.0%を占めている。

燃やさないごみでは、排出容器全体の平均重量は 5.91kg で、最も個数が多かったのはプラスチック製の袋で 52.2%を占めている。

表 1-35 事業系ごみの排出容器の使用状況

	燃やすごみ				燃やさないごみ			
	個数		重量 (kg)	平均 (kg/個)	個数		重量 (kg)	平均 (kg/個)
	(個)	割合			(個)	割合		
レジ袋					3	13.0%	1.71	0.57
プラスチック製の袋	36	90.0%	302.27	8.40	12	52.2%	108.02	9.00
紙袋								
段ボール								
ひもで結束								
ばら	4	10.0%	29.38	7.35	8	34.8%	26.14	3.27
その他								
合計	40		331.65	8.29	23		135.87	5.91

1.9 容器包装プラスチックの汚れ状況

(1)燃やすごみ

燃やすごみの容器包装プラスチックの汚れ状況を表 1-36 に示す。全体の合計では、最も多いのがきれい 44.1%、次いで、汚れあり(軽度)26.7%で、汚れあり(重度)26.5%、残留物あり 2.7%の順である。

表 1-36 燃やすごみの容器包装プラスチックの汚れ状況

		重量(kg)	割合
きれい	レジ袋 (中にごみなし)	2.19	5.0%
	ボトル	3.78	8.7%
	フタ・キャップ類	0.27	0.6%
	カップ類	1.19	2.7%
	ふくろ類	6.44	14.8%
	チューブ類	0.70	1.6%
	食品用パック類	2.14	4.9%
	発泡樹脂でないトレイ	0.68	1.6%
	その他パック類	0.68	1.6%
	ネット類	0.09	0.2%
	ラベル・フィルム類	0.58	1.3%
	ラップ類	0.19	0.4%
	その他	0.20	0.5%
	小計	19.13	44.1%
	汚れあり(軽度)	11.58	26.7%
汚れあり(重度)	11.50	26.5%	
残留物あり	1.16	2.7%	
合計	43.37	100.0%	

(2)燃やさないごみ

燃やさないごみの容器包装プラスチックの汚れ状況を表 1-37 に示す。混入しているものは全てきれいで、容器包装プラスチックとして排出可能なものである。

表 1-37 燃やさないごみの容器包装プラスチックの汚れ状況

		重量(kg)	割合
きれい	レジ袋 (中にごみなし)	0.01	0.8%
	ボトル	0.88	73.3%
	フタ・キャップ類	0.15	12.5%
	カップ類		
	ふくろ類	0.10	8.3%
	チューブ類	0.02	1.7%
	食品用パック類		
	発泡樹脂でないトレイ		
	その他パック類	0.02	1.7%
	ネット類		
	ラベル・フィルム類	0.01	0.8%
	ラップ類		
	その他	0.01	0.8%
	小計	1.20	100.0%
	汚れあり(軽度)		
汚れあり(重度)			
残留物あり			
合計	1.20	100.0%	

(3)容器包装プラスチック

容器包装プラスチックの容器包装プラスチックの汚れ状況を表 1-38 に示す。全体の合計では、最も多いのがきれい 78.1%で、次いで、汚れあり(軽度)12.0%、汚れあり(重度)9.8%、残留物あり 0.1%の順である。

表 1-38 容器包装プラスチックの容器包装プラスチックの汚れ状況

		重量(kg)	割合
きれい	レジ袋(中にごみなし)	3.69	5.4%
	ボトル	6.05	8.9%
	フタ・キャップ類	1.59	2.3%
	カップ類	4.22	6.2%
	ふくろ類	15.04	22.1%
	チューブ類	0.42	0.6%
	食品用パック類	13.35	19.6%
	発泡樹脂でないトレイ	4.32	6.3%
	その他パック類	0.78	1.1%
	ネット類	0.07	0.1%
	ラベル・フィルム類	2.89	4.2%
	ラップ類	0.31	0.5%
	その他	0.39	0.6%
	小計	53.12	78.1%
	汚れあり(軽度)		8.14
汚れあり(重度)		6.70	9.8%
残留物あり		0.08	0.1%
合計		68.04	100.0%

1.10 レジ袋の使用状況

(1)家庭ごみ

家庭ごみのレジ袋の使用状況を表 1-39 に示す。燃やすごみに排出されたレジ袋の組成割合の合計は 0.9%である。内訳を構成比で見ると、中にごみが入っていたレジ袋が 64.4%で最も多く、次いで、中にごみが入っていないレジ袋が 29.8%、外袋として使用されたレジ袋が 5.8%である。

燃やさないごみに排出されたレジ袋の組成割合の合計は 0.7%である。内訳を構成比で見ると、外袋として使用されたレジ袋が 59.0%で最も多く、次いで、中にごみが入っていたレジ袋が 40.3%、中にごみが入っていないレジ袋が 0.7%である。

容器包装プラスチックに排出されたレジ袋の組成割合の合計は 6.9%である。内訳を構成比で見ると、中にごみが入っていないレジ袋が 61.9%で最も多く、次いで、中にごみが入っていたレジ袋が 26.0%、外袋として使用されたレジ袋が 12.1%である。

表 1-39 家庭ごみのレジ袋の使用状況

	燃やすごみ		燃やさないごみ		容器包装プラスチック	
	組成割合	構成比	組成割合	構成比	組成割合	構成比
レジ袋(中にごみなし)	0.3%	29.8%	0.0%	0.7%	4.3%	61.9%
レジ袋(中にごみあり)	0.6%	64.4%	0.3%	40.3%	1.8%	26.0%
レジ袋(外袋)	0.1%	5.8%	0.4%	59.0%	0.8%	12.1%
合計	0.9%	100.0%	0.7%	100.0%	6.9%	100.0%

(2)事業系ごみ

事業系ごみのレジ袋の使用状況を表 1-40 に示す。燃やすごみに排出されたレジ袋の組成割合の合計は 0.2%である。内訳を構成比で見ると、中にごみが入っていたレジ袋が 72.0%で最も多く、次いで、中にごみが入っていないレジ袋が 28.0%である。

燃やさないごみに排出されたレジ袋の組成割合の合計は 0.1%である。内訳を構成比で見ると、中にごみが入っていたレジ袋が 76.9%で最も多く、次いで、外袋として使用されたレジ袋が 15.4%、中にごみが入っていないレジ袋が 7.7%である。

表 1-40 事業系ごみのレジ袋の使用状況

	燃やすごみ		燃やさないごみ	
	組成割合	構成比	組成割合	構成比
レジ袋(中にごみなし)	0.1%	28.0%	0.0%	7.7%
レジ袋(中にごみあり)	0.2%	72.0%	0.1%	76.9%
レジ袋(外袋)			0.0%	15.4%
合計	0.2%	100.0%	0.1%	100.0%

第2章 過去の調査との比較

2.1 平成21年度調査の分類

この章では、平成21・22年度調査と今年度調査結果の比較を行うが、平成21年度調査と今年度調査では、分類が異なるために、資源化可能物と分別協力率の算定方法が異なる。参考として、平成21年度調査の組成分類を表2-1に、資源化可能物と分別協力率の算定方法を以下に示す。

①資源化可能物

何らかの資源化ルートが確保されている品目を定義し、可燃系と不燃系の2つに分類して用いる。

可燃系資源化可能物	紙類（新聞（きれいなもの）、折込広告、雑誌・本、雑がみ、OA用紙（コピー等）、ダンボール、紙パック） ペットボトル 容器包装プラスチック、発泡スチロール
不燃系資源化可能物	びん（生きびん類、雑びん類） 缶（スチール缶、アルミ缶）

※容器包装の紙類で、きれいなものは本来資源となるが、平成21年度調査では汚れ状況まで調査していないので、燃やすごみとして分類した。

②分別協力率

排出されたごみ量のうち、正しく分別されたごみ量の割合（重量比）

燃やすごみ	燃やすごみとして出された中の「燃やすごみ」、「容器包装プラスチック」、「発泡スチロール」、「外袋」の割合。容器包装プラスチックと発泡スチロールについては汚れていて燃やすごみとして出されたものと判断。
-------	---

(算定式)

$$\text{分別協力率} = \frac{\text{燃やすごみ} + \text{容器包装プラスチック} + \text{発泡スチロール} + \text{外袋}}{\text{燃やすごみとして出されたごみ}}$$

燃やさないごみ	燃やさないごみとして出された中の「燃やさないごみ」、「外袋」の割合。
---------	------------------------------------

(算定式)

$$\text{分別協力率} = \frac{\text{燃やさないごみ} + \text{外袋}}{\text{燃やさないごみとして出されたごみ}}$$

表 2-1 平成 21 年度調査の組成分類

No	大分類	中分類	細分類	
1	燃やすごみ	生ごみ		
2		紙類	新聞(汚れたもの)	
3			容器包装の紙類	
4			その他紙類	
5		プラスチック類	レジ袋(中にごみあり)	
6			その他プラスチック	
7		ゴム・皮革類		
8		布類		
9		木・草類		
10		医療系廃棄物		
11		その他	その他可燃	
12	燃やさないごみ	金属類	スチール缶(リサイクル不可)	
13			アルミ缶(リサイクル不可)	
14			危険物(使い切っているもの)	
15			危険物(中身が残っているもの)	
16			その他の金属類	
17		ガラス類	雑びん類(リサイクル不可)	
18			蛍光管(割れていないもの)	
19			蛍光管(割れているもの)	
20			その他ガラス	
21		陶磁器類		
22		その他	乾電池	
23			小型家電	
24			携帯電話	
25	その他不燃			
26	資源	紙類	新聞(きれいなもの)	
27			折込広告	
28			雑誌・本	
29			雑がみ	
30			OA用紙(コピー等)	
31			ダンボール	
32			紙パック	
33			ペットボトル	しょうゆ等特定調味料用
34				飲料用
35			容器包装プラスチック	レジ袋(中にごみなし)
36		ペット製ボトル		
37		その他ボトル		
38		フタ・キャップ類		
39		カップ類		
40		ふくろ類		
41		チューブ類		
42		パック類		
43		その他		
44		発泡スチロール	発泡トレイ(白)	
45			発泡トレイ(柄)	
46	発泡樹脂容器等			
47	びん	生きびん類		
48		雑びん類(リサイクル可)		
49	缶	スチール缶(リサイクル可)		
50		アルミ缶(リサイクル可)		
51	外袋	プラスチック類		
52		レジ袋		
53		紙袋		
54		その他		

2.2 組成

(1)燃やすごみ

燃やすごみの過去調査との比較を表 2-2 及び図 2-1 に示す。

表 2-2 燃やすごみの過去調査との比較

大分類	中分類	平成21年度 1回目調査 (6月実施)	平成21年度 2回目調査 (10月実施)	平成22年度 調査 (6月実施)	本年度 調査 (6月実施)
燃やすごみ	生ごみ	44.8%	46.2%	46.2%	48.9%
	紙類※	12.7%	12.6%	7.2%	7.8%
	プラスチック類※	2.4%	2.7%	7.2%	4.9%
	その他(燃やすごみ)	16.6%	18.2%	20.1%	19.4%
燃やさない ごみ	金属類	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%
	ガラス類	0.2%	0.2%	0.1%	0.0%
	陶磁器類	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
	その他(燃やさないごみ)	0.4%	0.6%	0.1%	0.3%
資源	紙類※	12.8%	10.7%	15.3%	14.9%
	ペットボトル	0.2%	0.3%	0.2%	0.1%
	容器包装プラスチック※	7.9%	6.1%	2.1%	2.5%
	発泡スチロール	0.5%	0.5%	0.3%	0.3%
	びん	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%
	缶	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%
外袋	0.9%	1.1%	0.8%	0.6%	
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※ 紙類とプラスチック類(容器包装プラスチック)については、平成21年度の分類方法が異なっている(P4・P39 参考)。平成21年度は容器包装の紙類は全て燃やすごみの紙類、容器包装プラスチックは全て資源に分類されていた。

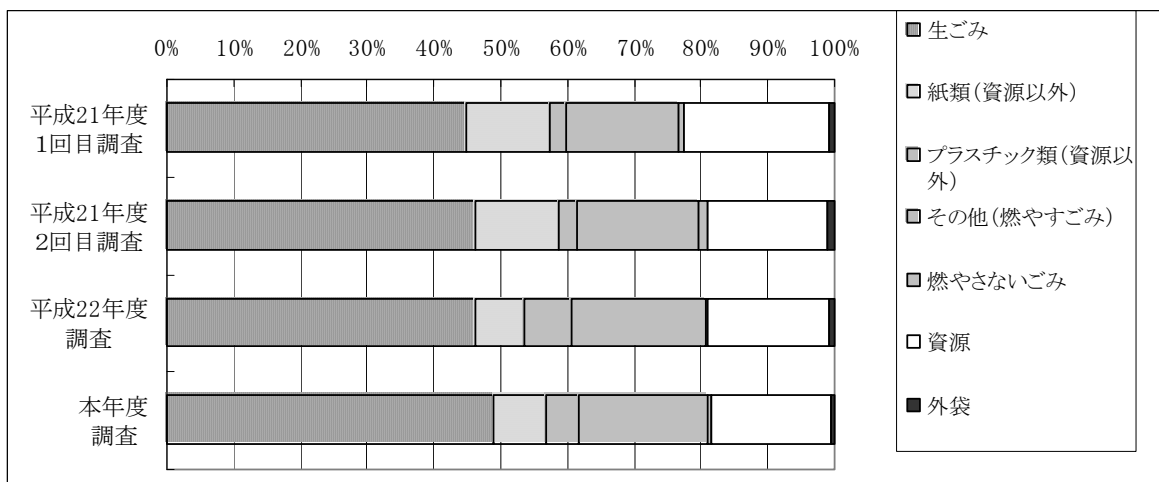


図 2-1 燃やすごみの過去調査との比較

(2)燃やさないごみ

燃やさないごみの過去調査との比較を表 2-3 及び図 2-2 に示す。

表 2-3 燃やさないごみの過去調査との比較

大分類	中分類	平成21年度 1回目調査 (6月実施)	平成21年度 2回目調査 (10月実施)	平成22年度 調査 (6月実施)	本年度 調査 (6月実施)
燃やすごみ	生ごみ	0.3%	0.3%	0.7%	0.7%
	紙類※	0.7%	0.2%	0.2%	1.2%
	プラスチック類※	3.8%	8.9%	7.7%	6.8%
	その他(燃やすごみ)	2.0%	2.7%	2.7%	4.0%
燃やさない ごみ	金属類	33.4%	32.7%	28.9%	27.2%
	ガラス類	11.4%	15.8%	13.7%	9.6%
	陶磁器類	15.4%	17.8%	18.9%	6.7%
	その他(燃やさないごみ)	22.1%	11.8%	18.6%	33.5%
資源	紙類※	0.3%	0.2%	0.7%	0.7%
	ペットボトル	0.4%	0.2%	0.2%	0.1%
	容器包装プラスチック※	1.5%	1.9%	1.3%	0.4%
	発泡スチロール	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%
	びん	6.8%	4.7%	3.2%	4.4%
	缶	0.8%	1.1%	2.6%	4.1%
外袋		1.0%	1.6%	0.7%	0.7%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※紙類とプラスチック類（容器包装プラスチック）については、平成 21 年度の分類方法が異なっている（P4・P39 参考）。平成 21 年度は容器包装の紙類は全て燃やすごみの紙類、容器包装プラスチックは全て資源に分類されていた。

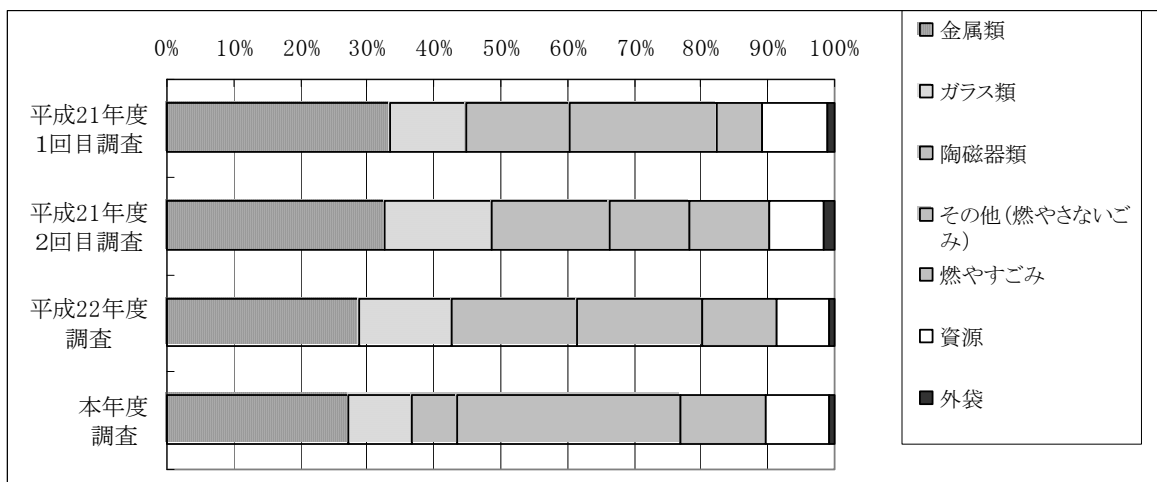


図 2-2 燃やさないごみの過去調査との比較

(3)容器包装プラスチック

容器包装プラスチックの過去調査との比較を表 2-4 及び図 2-3 に示す。

表 2-4 容器包装プラスチックの過去調査との比較

大分類	中分類	平成21年度 1回目調査 (6月実施)	平成21年度 2回目調査 (10月実施)	平成22年度 調査 (6月実施)	本年度 調査 (6月実施)
燃やすごみ	生ごみ	2.2%	0.5%	1.3%	1.5%
	紙類※	1.6%	1.7%	0.8%	0.8%
	プラスチック類※	9.5%	8.1%	28.2%	24.0%
	その他(燃やすごみ)	2.6%	1.5%	2.3%	1.7%
燃やさないごみ	金属類	1.1%	1.2%	0.8%	1.0%
	ガラス類	1.2%		0.3%	0.6%
	陶磁器類		0.3%	0.9%	
	その他(燃やさないごみ)	2.3%	1.9%	0.1%	0.2%
資源	紙類※	0.4%	0.5%	1.3%	0.2%
	ペットボトル	0.9%	1.5%	0.6%	0.7%
	容器包装プラスチック※	71.2%	74.8%	57.7%	63.9%
	発泡スチロール	2.7%	3.6%	2.7%	2.4%
	びん	0.9%	0.5%	0.1%	
	缶	0.3%	0.5%	0.3%	0.2%
外袋		3.1%	3.4%	2.5%	2.8%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※紙類とプラスチック類（容器包装プラスチック）については、平成 21 年度の分類方法が異なっている（P4・P39 参考）。平成 21 年度は容器包装の紙類は全て燃やすごみの紙類、容器包装プラスチックは全て資源に分類されていた。

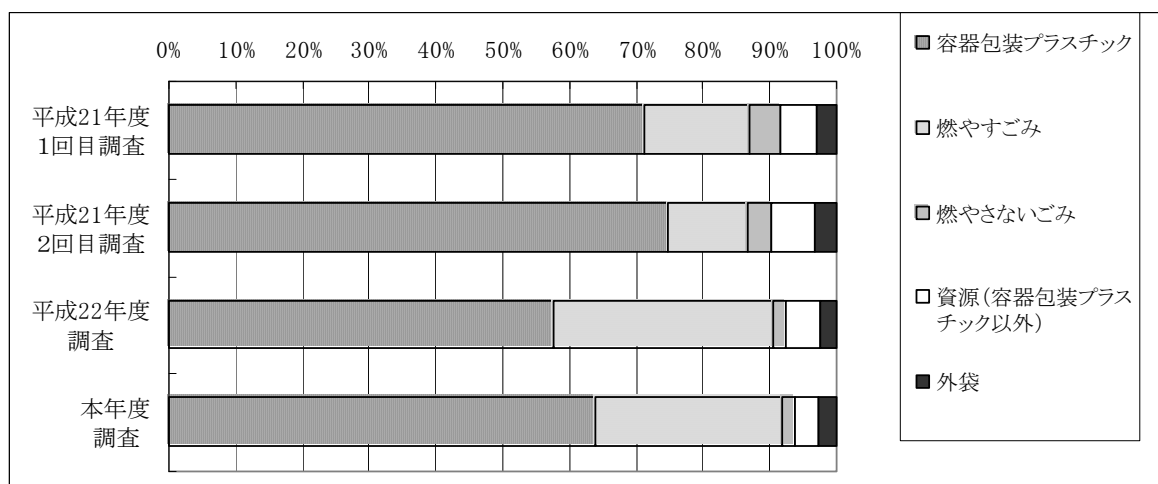


図 2-3 容器包装プラスチックの過去調査との比較

2.3 排出容器の使用状況

(1)家庭ごみ

家庭ごみの排出容器の使用状況の過去調査との比較を表 2-5 に示す。

表 2-5 家庭ごみの排出容器の使用状況の過去調査との比較

		平成21年度 1回目調査 (6月実施)	平成21年度 2回目調査 (10月実施)	平成22年度 調査 (6月実施)	本年度 調査 (6月実施)
燃やすごみ	レジ袋	23.10%	31.30%	17.80%	8.77%
	プラスチック製の袋	75.80%	67.10%	81.90%	90.35%
	紙袋	0.20%	0.20%		
	段ボール	0.40%	0.40%		0.88%
	ひもで結束				
	ばら	0.60%	0.60%	0.30%	
	その他		0.40%		
	合計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
燃やさない ごみ	レジ袋	67.00%	60.90%	67.80%	70.59%
	プラスチック製の袋	28.40%	31.90%	26.70%	21.57%
	紙袋			0.70%	0.98%
	段ボール	0.90%			
	ひもで結束			2.70%	
	ばら	3.70%	5.10%	2.10%	5.88%
	その他		2.20%		0.98%
	合計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
容器包装プ ラスチック	レジ袋	59.80%	53.70%	46.30%	43.97%
	プラスチック製の袋	40.20%	46.00%	53.70%	54.61%
	紙袋				
	段ボール				
	ひもで結束				
	ばら		0.30%		1.42%
	その他				
	合計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

(2)事業系ごみ

事業系ごみの排出容器の使用状況の過去調査との比較を表 2-6 に示す。

表 2-6 事業系ごみの排出容器の使用状況の過去調査との比較

		平成21年度 1回目調査 (6月実施)	平成21年度 2回目調査 (10月実施)	平成22年度 調査 (6月実施)	本年度 調査 (6月実施)
燃やすごみ	レジ袋				
	プラスチック製の袋	36.30%	48.40%	97.70%	90.00%
	紙袋	62.50%	50.00%	2.30%	
	段ボール		1.60%		
	ひもで結束				
	ばら				10.00%
	その他	1.30%			
	合計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
燃やさない ごみ	レジ袋	3.80%		15.40%	13.04%
	プラスチック製の袋	26.90%	36.80%	65.40%	52.17%
	紙袋	42.30%	36.80%		
	段ボール			3.80%	
	ひもで結束				
	ばら	26.90%	5.30%	15.40%	34.78%
	その他		21.10%		
	合計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

2.4 資源化可能物

(1)家庭ごみ

家庭ごみの資源化可能物の過去調査との比較を表 2-7 及び図 2-4 に示す。

表 2-7 家庭ごみの資源化可能物の過去調査との比較

		平成21年度 1回目調査 (6月実施)	平成21年度 2回目調査 (10月実施)	平成22年度 調査 (6月実施)	本年度 調査 (6月実施)
燃やすごみ	可燃系資源化可能物	21.5%	17.7%	17.9%	17.8%
	不燃系資源化可能物	0.1%	0.2%	0.2%	0.1%
	資源化可能物	21.6%	17.9%	18.1%	17.9%
燃やさないごみ	可燃系資源化可能物	2.2%	2.3%	2.2%	1.2%
	不燃系資源化可能物	7.6%	5.8%	5.7%	8.5%
	資源化可能物	9.8%	8.1%	7.9%	9.7%
容器包装 プラスチック	可燃系資源化可能物	4.0%	5.6%	4.6%	3.3%
	不燃系資源化可能物	1.2%	1.0%	0.4%	0.2%
	資源化可能物	5.3%	6.5%	4.9%	3.5%

注) 平成 22 年度と本年度は汚れ状況を加味して分析をしたので、可燃系資源化可能物の分類が平成 21 年度と異なる。

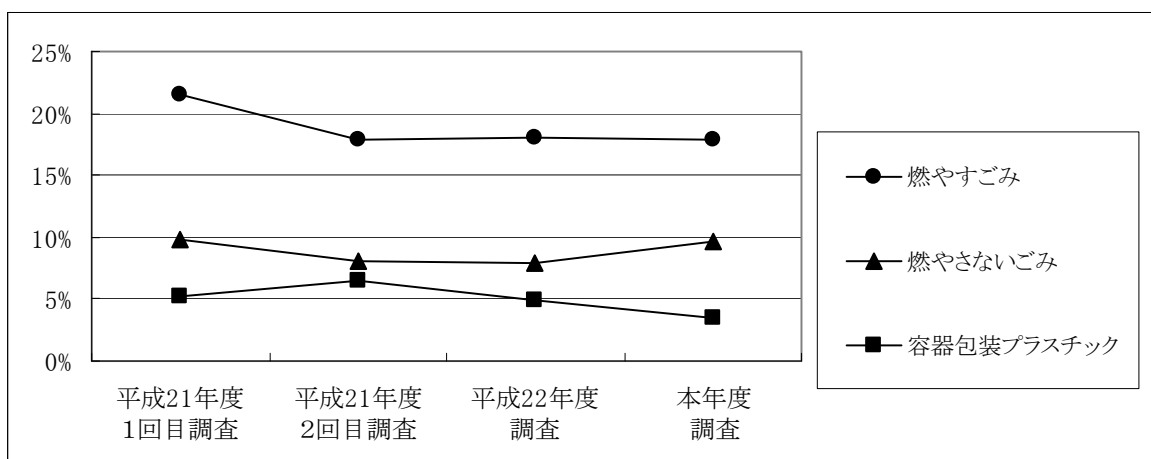


図 2-4 家庭ごみの資源化可能物の過去調査との比較

(2)事業系ごみ

事業系ごみの資源化可能物の過去調査との比較を表 2-8 及び図 2-5 に示す。

表 2-8 事業系ごみの資源化可能物の過去調査との比較

		平成21年度 1回目調査 (6月実施)	平成21年度 2回目調査 (10月実施)	平成22年度 調査 (6月実施)	本年度 調査 (6月実施)
燃やすごみ	可燃系資源化可能物	25.3%	18.7%	32.3%	30.2%
	不燃系資源化可能物	0.3%	0.1%	0.2%	0.5%
	資源化可能物	25.6%	18.8%	32.5%	30.8%
燃やさないごみ	可燃系資源化可能物	9.2%	6.1%	3.3%	1.3%
	不燃系資源化可能物	14.6%	18.4%	37.6%	6.6%
	資源化可能物	23.9%	24.5%	40.9%	7.9%

注) 平成 22 年度と本年度は汚れ状況を加味して分析をしたので、可燃系資源化可能物の分類が平成 21 年度と異なる。

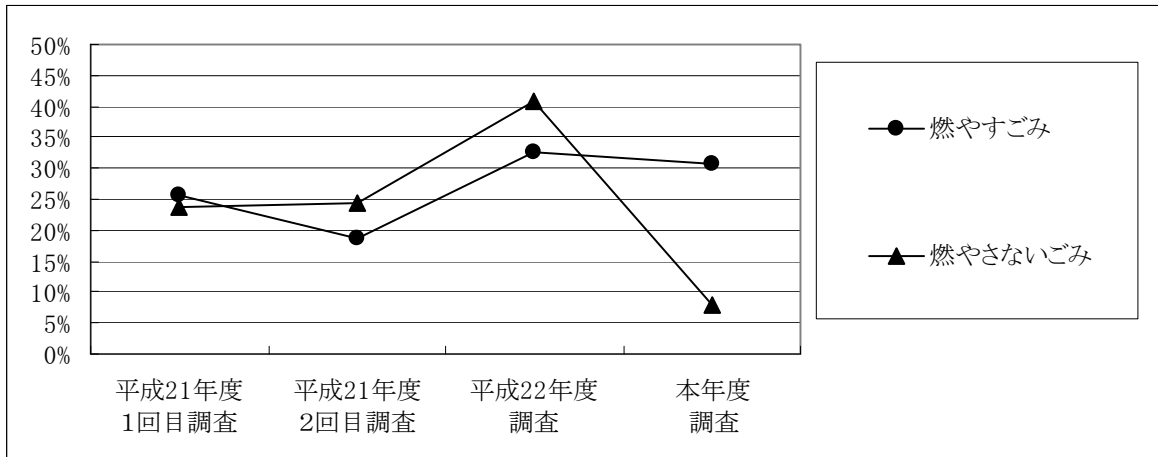


図 2-5 事業系ごみの資源化可能物の過去調査との比較

2.5 分別協力率

(1)家庭ごみ

家庭ごみの分別協力率の過去調査との比較を表 2-9 及び図 2-6 に示す。

表 2-9 分別協力率の過去調査との比較（家庭ごみ）

	平成21年度 1回目調査 (6月実施)	平成21年度 2回目調査 (10月実施)	平成22年度 調査 (6月実施)	本年度 調査 (6月実施)
燃やすごみ	85.8%	87.5%	81.9%	81.9%
燃やさないごみ	83.3%	79.7%	80.8%	77.7%

注) 平成 22 年度と本年度は汚れ状況を加味して分析をしたので、分別協力率の算定式が平成 21 年度と異なる。

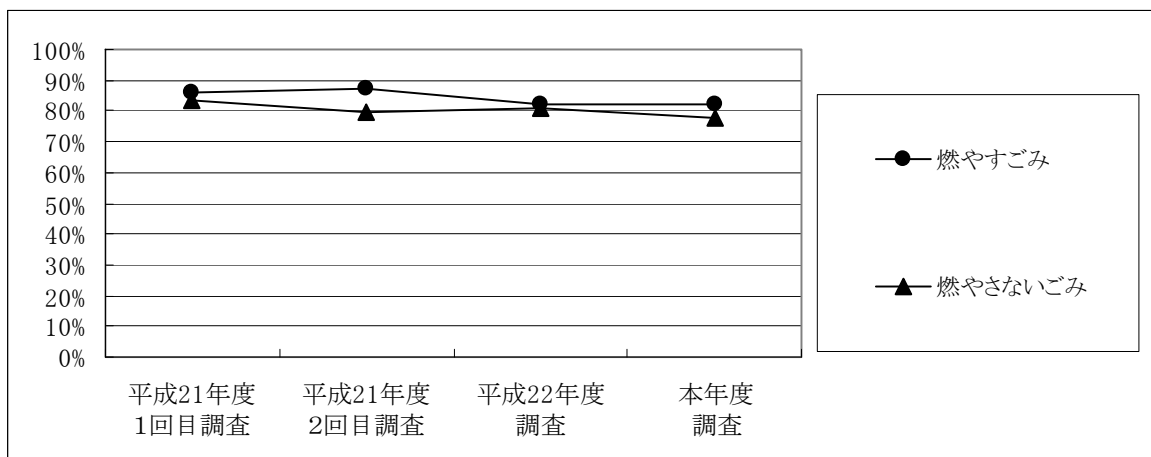


図 2-6 分別協力率の過去調査との比較（家庭ごみ）

(2)事業系ごみ

事業系ごみの分別協力率の過去調査との比較を表 2-10 及び図 2-7 に示す。

表 2-10 分別協力率の過去調査との比較（事業系ごみ）

	平成21年度 1回目調査 (6月実施)	平成21年度 2回目調査 (10月実施)	平成22年度 調査 (6月実施)	本年度 調査 (6月実施)
燃やすごみ	80.7%	71.5%	75.3%	86.1%
燃やさないごみ	56.6%	60.8%	53.6%	78.8%

注) 平成 22 年度と本年度は汚れ状況を加味して分析をしたので、分別協力率の算定式が平成 21 年度と異なる。

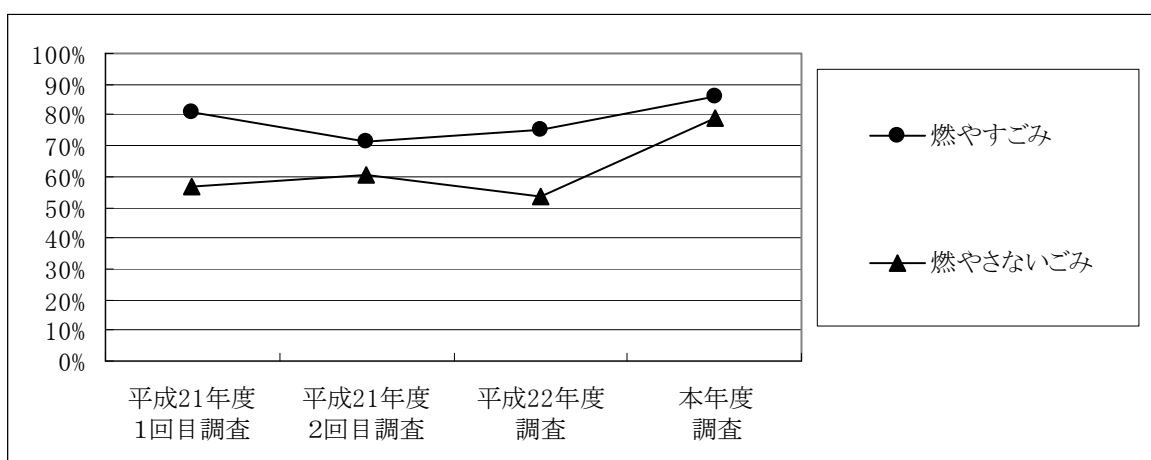


図 2-7 分別協力率の過去調査との比較（事業系ごみ）

ごみ組成分析調査 報告書

発行日：平成23年8月

発行：江東区

編集：江東区環境清掃部清掃リサイクル課

電話 03-3647-9181（直通）

調査：(株)杉山・栗原環境事務所